

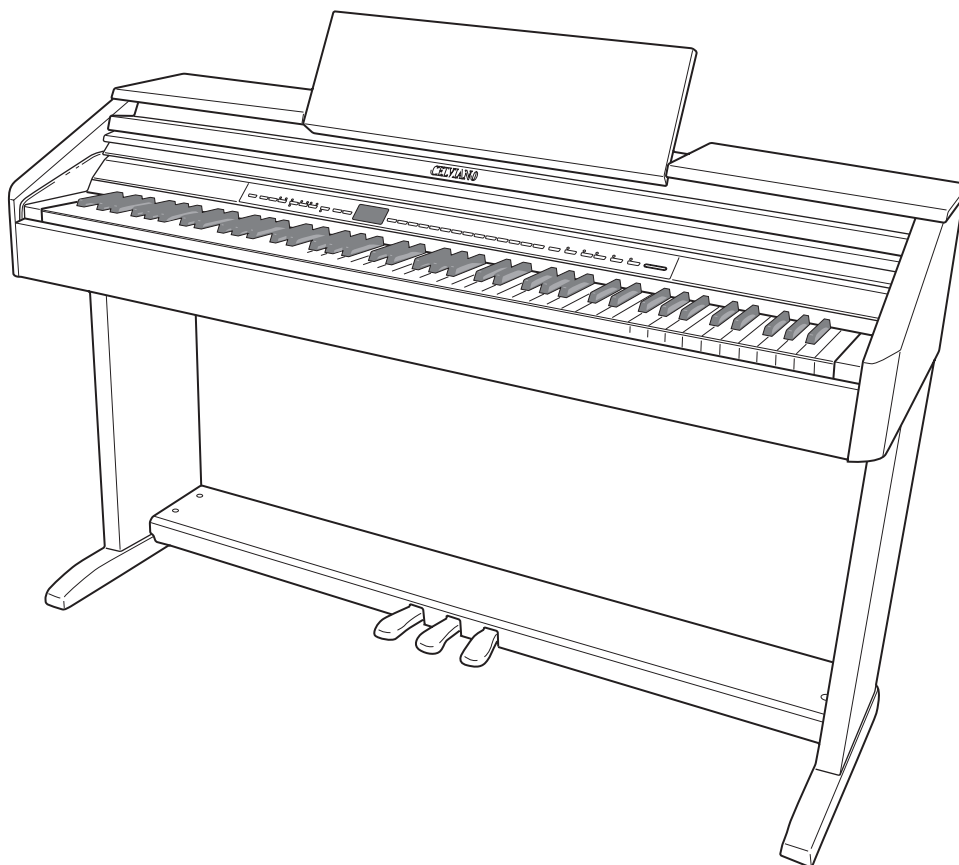
CELVIANO AP-500

取扱説明書（保証書別添）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、
保証書とともに、大切に保管してください。

「安全上のご注意」

ご使用前に、添付別紙「安全上のご注意」を
お読みの上、正しくお使いください。



スタンド/イス/
譜面立て付

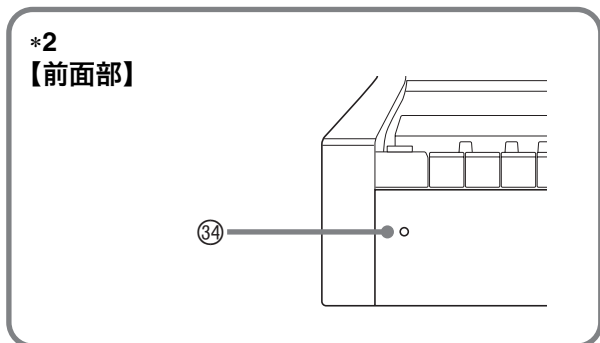
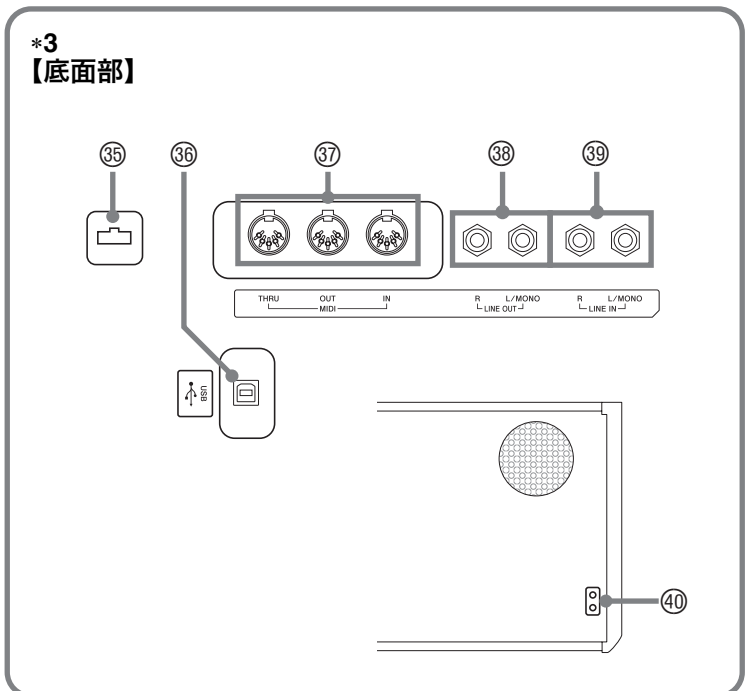
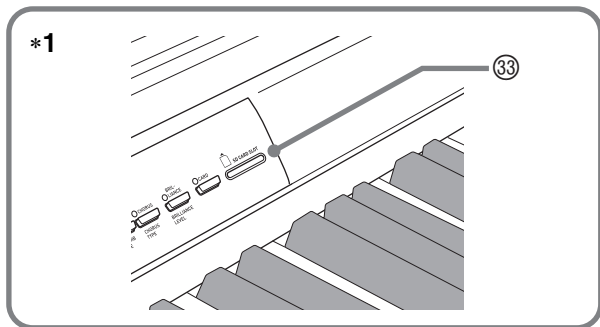
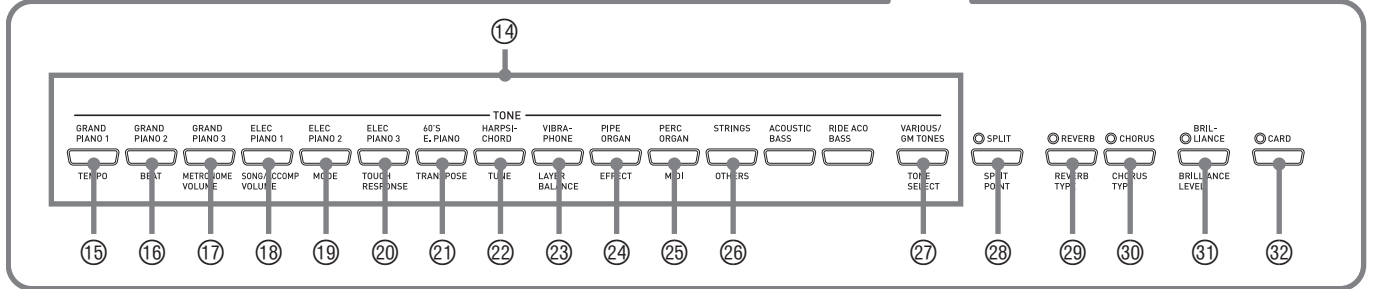
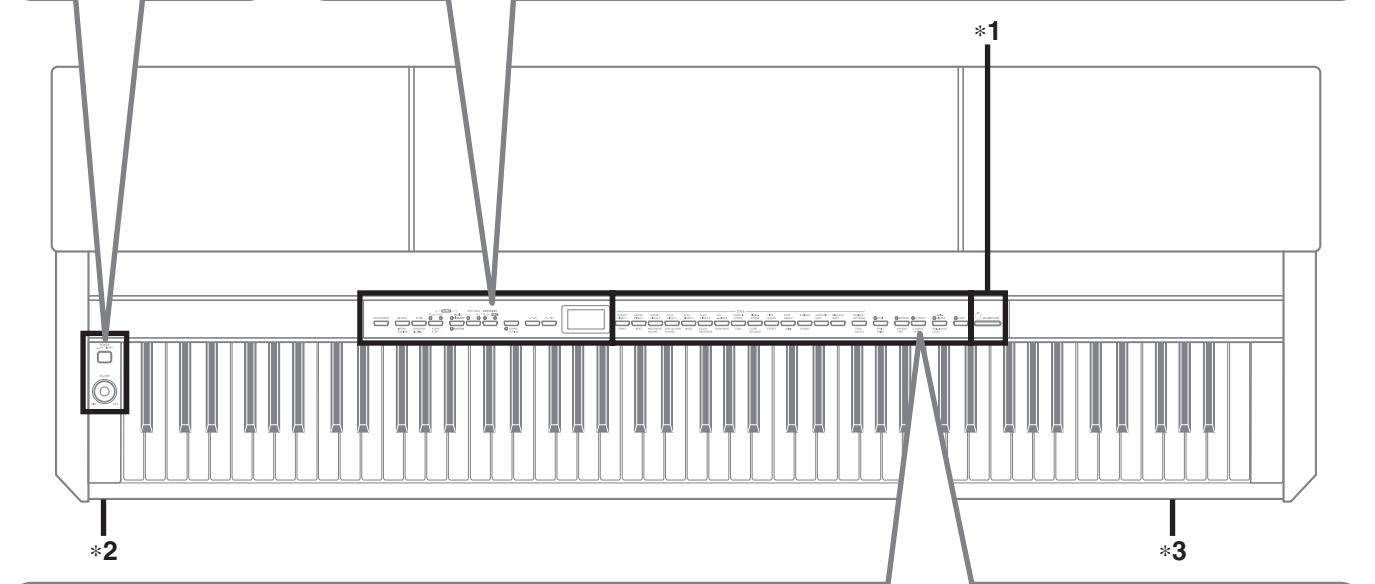
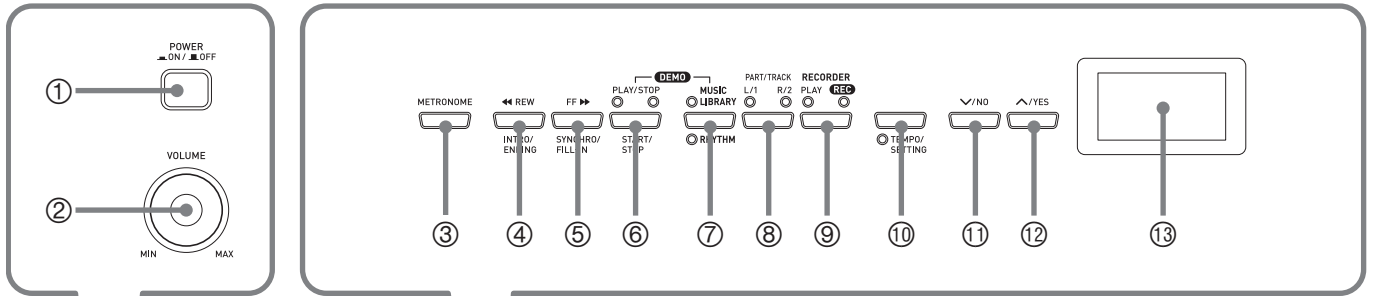
- 組み立て方法は32ページをご覧ください。
- ネジ類は発泡スチロール緩衝材内にあります（詳しくは33ページ）。

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

目次

イスの組み立て方.....	32
スタンドの組み立て方.....	33
付属品を確認しましょう.....	33
スタンドを組み立てる.....	33
コード類を接続するには.....	34
各部の名称.....	2
TEMPO/SETTING ボタンについて.....	4
✓/NO ボタン、∧/YES ボタンについて.....	4
電源の準備.....	5
接続について.....	6
ヘッドホンを接続するには.....	6
オーディオ機器やアンプと接続するには.....	6
付属品・別売品について.....	6
音色を選んで弾いてみる.....	7
パネル音色を選んでみる.....	7
VARIOUS 音色 / GM 音色 / ドラムセット音色を選ぶ.....	8
音色の明るさを調節するには (プリリアンス).....	8
2つの音色を重ねてみる (レイヤー).....	9
2つの音色を左右に分けてみる (スプリット).....	9
音色に効果をかけてみる (エフェクト).....	10
ペダルを使ってみる.....	10
メトロノームを鳴らしてみる.....	11
リズムを鳴らしてみる.....	12
リズムを選ぶ.....	12
自動伴奏を使ってみる.....	12
曲を聴いてみる (デモ演奏 / ミュージックライブラリー).....	15
デモ演奏を聴いてみる.....	15
ミュージックライブラリーの曲を1曲ずつ 聴いてみる.....	15
曲を早戻しするには.....	16
曲を早送りするには.....	16
ミュージックライブラリーの曲を練習してみる.....	16
演奏を録音 / 再生してみる (録音機能).....	17
曲とトラックについて.....	17
演奏を録音してみる.....	18
録音した演奏を再生してみる.....	19
録音した内容を消去するには.....	19
その他の設定.....	20
設定するには.....	20
設定項目一覧表.....	22
パソコンとの接続について.....	24
MIDI 端子での接続.....	24
USB 端子での接続.....	24
USB モード・MIDI モードについて.....	25
ミュージックライブラリーの曲を増やすには.....	25
SD メモリーカードを使うには... ..	27
SD メモリーカードを入れる / 取り出す.....	28
SD メモリーカードに保存されている ファイルの再生.....	28
SD メモリーカードに保存されている 曲データの呼び出し.....	29
本機で録音した曲データの保存.....	30
SD メモリーカードのフォーマット.....	30
SD メモリーカード使用時のエラーについて.....	31
資料.....	36
困ったときは.....	36
製品仕様.....	37
トーンリスト.....	39
ドラム音色リスト.....	40
リズムリスト.....	41
ソングリスト.....	41
フィンガードコード一覧表.....	42
ご使用上の注意.....	43
保証・アフターサービスについて.....	43
MIDI インプリメンテーション・ チャート.....	

各部の名称



△ 注意

- 本機を演奏する際、必ず本機のスライド式鍵カバーを完全に開けるようにしてください。不完全な開け方で演奏した場合、演奏の際の振動でカバーが閉まり、本機とカバーとの間に指をはさむことがあり、危険です。

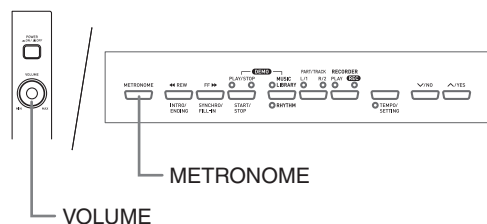
📌 メモ

- マーク右の数字は、参照ページです。
- 各部の名称は、本書の説明文中で太字で記載されます。

- ① ^{パワー} **POWER** ボタン ⑤, 7
- ② ^{ボリューム} **VOLUME** つまみ ⑥, 7
- ③ ^{メトロノーム} **METRONOME** ボタン ⑪
- ④ ^{早戻し} **◀REW, INTRO/ENDING** ボタン ⑬, 16
- ⑤ ^{早送り} **▶FF, SYNCHRO/FILL-IN** ボタン ⑬, 16
- ⑥ ^{プレイ/ストップ} **PLAY/STOP, START/STOP** ボタン
⑫, 15, 16, 18, 19, 28
- ⑦ ^{ミュージック} **MUSIC LIBRARY, RHYTHM** ボタン
⑫, 15, 29
- ⑧ ^{パート/トラック} **PART/TRACK** ボタン ⑫, 16, 18, 19
- ⑨ ^{レコーダー} **RECORDER** ボタン ⑫, 17, 18, 19, 29, 30
- ⑩ ^{テンポ/セッティング} **TEMPO/SETTING** ボタン
④, 11, 12, 13, 20, 29, 30
- ⑪ ^{いいえ} **✓/NO** ボタン ④
- ⑫ ^{はい} **^/YES** ボタン ④
- ⑬ 表示部
- ⑭ ^{トーン} **TONE** ボタン ⑦, 9
- ⑮ ^{テンポ} **TEMPO** ボタン ⑫, 23
- ⑯ ^{ビート} **BEAT** ボタン ⑫, 23
- ⑰ ^{メトロノーム} **METRONOME VOLUME** ボタン ⑪, 23
- ⑱ ^{ソング/アカンパ} **SONG/ACCOMP VOLUME** ボタン ⑫, 23
- ⑲ ^{モード} **MODE** ボタン ⑫, 23
- ⑳ ^{タッチ} **TOUCH RESPONSE** ボタン ⑫, 22
- ㉑ ^{トランスポーズ} **TRANSPOSE** ボタン ⑫, 22
- ㉒ ^{チューン} **TUNE** ボタン ⑫, 22
- ㉓ ^{レイヤー} **LAYER BALANCE** ボタン ⑫, 22
- ㉔ ^{エフェクト} **EFFECT** ボタン ⑫, 20, 22
- ㉕ ^{ミディ} **MIDI** ボタン ⑫, 21, 23
- ㉖ ^{その他} **OTHERS** ボタン ⑫, 21, 23
- ㉗ ^{トーン} **TONE SELECT** ボタン ⑫, 22
- ㉘ ^{スプリット} **SPLIT, SPLIT POINT** ボタン ⑫, 9, 22
- ㉙ ^{リバーブ} **REVERB, REVERB TYPE** ボタン ⑫, 10, 22
- ㉚ ^{コーラス} **CHORUS, CHORUS TYPE** ボタン ⑫, 10, 22
- ㉛ ^{ブリリアンス} **BRILLIANCE, BRILLIANCE LEVEL** ボタン
⑫, 8, 22
- ㉜ ^{カード} **CARD** ボタン ⑫, 28, 29, 30
- ㉝ **SDメモリーカードスロット** ⑫, 27, 28
- ㉞ 電源ランプ ⑫, 5
- ㉟ ペダルコネクター ⑫, 34
- ㊱ **USB端子** ⑫, 24, 25
- ㊲ ^{ミディ} **MIDI THRU/OUT/IN** 端子 ⑫, 24, 25
- ㊳ ^{ラインアウト} **LINE OUT R, L/MONO** 端子 ⑫, 6
- ㊴ ^{ラインイン} **LINE IN R, L/MONO** 端子 ⑫, 6
- ㊵ ^{ホン} **PHONES** 端子 ⑫, 6

📌 メモ

- 本書では、各章の最初のページの上部に、本体コンソールのイラストを記載しています。操作で使うボタンなどの位置を確認できます。

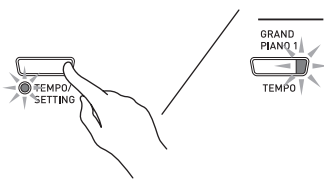


TEMPO/SETTINGボタンについて

本機では、**TEMPO/SETTING**ボタンを使って様々な設定を行います。操作の流れとポイントを、ここでつかんでおきましょう。

- **TEMPO/SETTING**ボタンを使って設定できる内容については、22ページの「設定項目一覧表」を参照してください。

1. **TEMPO/SETTING**ボタンを押すと、**TEMPO/SETTING**ボタン下のランプと、**GRAND PIANO 1/TEMPO**ボタンのランプが点滅します。

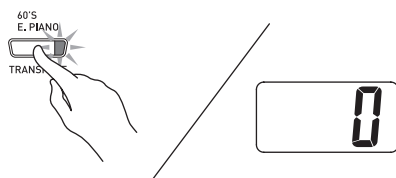


- **TEMPO/SETTING**ボタンを押した直後には“テンポ”が設定項目として選ばれています。

120

2. 設定したい項目が割り当てられたボタンを押すと、ボタンのランプが点滅してその項目に現在設定されている値が表示部に表示されます。

例：TRANSPOSEボタン



3. **✓/NO**ボタン、**∧/YES**ボタンを使って設定値を変更することができます。
4. 設定が終わったら、**TEMPO/SETTING**ボタンをもう一度押して、ボタンのランプを消灯させます。

✓/NOボタン、∧/YESボタンについて

✓/NOや**∧/YES**ボタンを使って、表示部に表示されているさまざまな設定値を変更できます。

- ボタンを押し続けると、設定値が素早く切り替わります。
(例) 8ページの「VARIOUS音色/GM音色/ドラムセット音色を選ぶ」

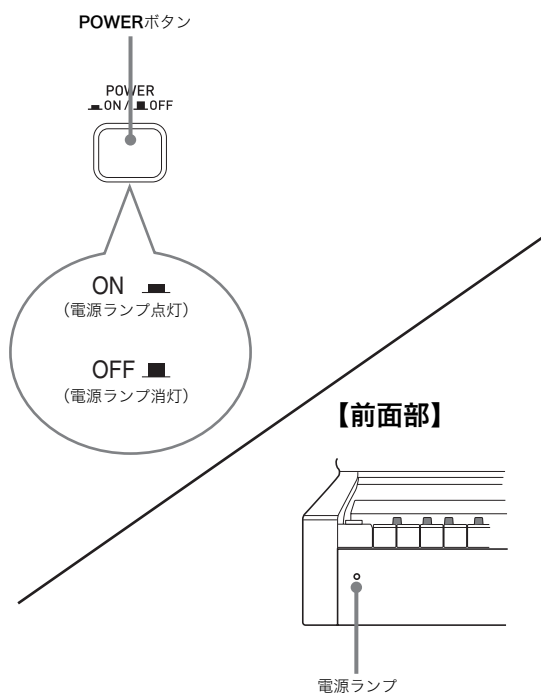
メモ

- **✓/NO**ボタンと**∧/YES**ボタンを一緒に押すと、各設定ごとにあらかじめ設定されている値になります。

電源の準備

本機は、電源として家庭用電源を使用します。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

1. POWERボタンを“OFF” にしておきます。



2. 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

重要!

- 電源プラグを抜き差しするときは、POWERボタンが“OFF”になっている事を確認してください。
- 本機の電源を完全に切るには、電源ランプが消えた後にコンセントから電源プラグを抜いてください。安全上の対処等で電源を切る場合、必ずお守りください。

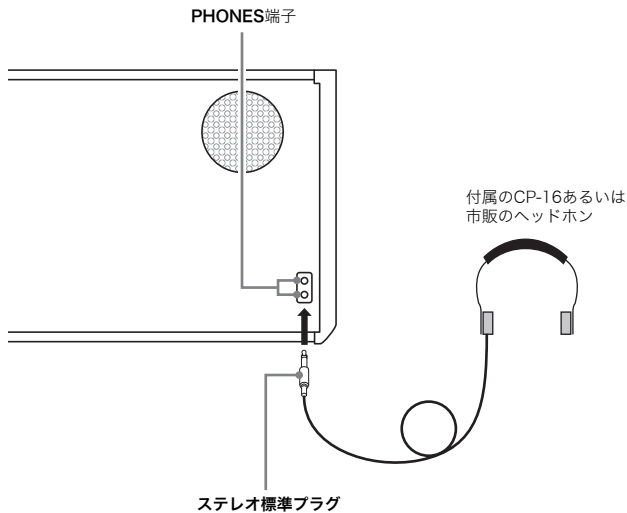
接続について

重要!

- 接続の際は、本機の**VOLUME**つまみを（接続する機器側にも音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。

ヘッドホンを接続するには

【底面部】



付属のCP-16あるいは市販のヘッドホンを**PHONES**端子に接続します。本機のスピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏が楽しめます。なお、耳の保護のために音量を上げすぎないようにご注意ください。

メモ

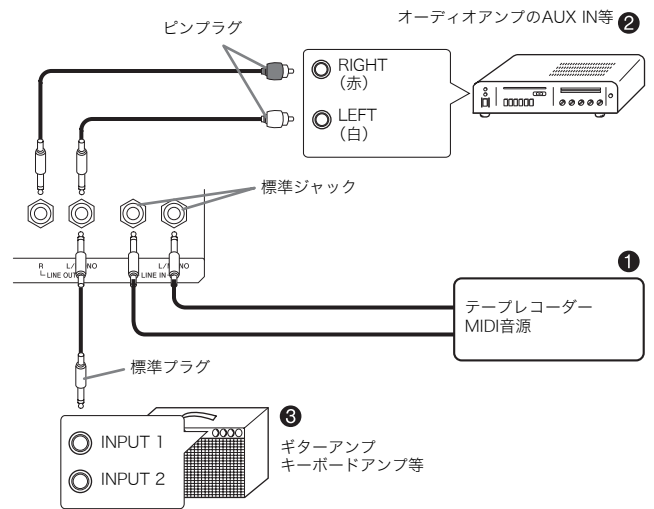
- ヘッドホンのプラグは**PHONES**端子に根元までしっかり差し込んで下さい。プラグが根元まで挿入されていないと、ヘッドホンの片側からしか音が出ない場合があります。

オーディオ機器やアンプと接続するには

オーディオ機器や楽器用アンプと接続すれば、それらの機器のスピーカーの能力に応じた、より迫力のある音量や音質で、演奏を楽しめます。

重要!

- 本機では、ヘッドホンを使用しているときはヘッドホンで聴くのに適した音質に、内蔵スピーカーを使用しているときは内蔵スピーカーで聴くのに適した音質に自動的に切り替わります。これに従って本機の**LINE IN**、**LINE OUT**端子から出力される音質も自動的に変わります。



外部機器の音を本機から鳴らすには (図①)

LINE IN R (Right) に接続すれば右スピーカーから、**LINE IN L/MONO** (Left) に接続すれば左スピーカーから音が出ます。相手の機器の出力端子に応じた、市販の接続コードをご利用ください。**LINE IN L/MONO**だけに接続すれば、両方のスピーカーから音が出ます。

オーディオ機器と接続するには (図②)

LINE OUT R (Right) が右チャンネル、**LINE OUT L/MONO** (Left) が左チャンネルの音です。市販の接続コードで図②のように、両方とも接続してください。通常はオーディオ機器のインプットセレクターを、接続した端子 (**AUX IN**等) に切り替えます。音量は本機の**VOLUME**つまみでも調節できます。

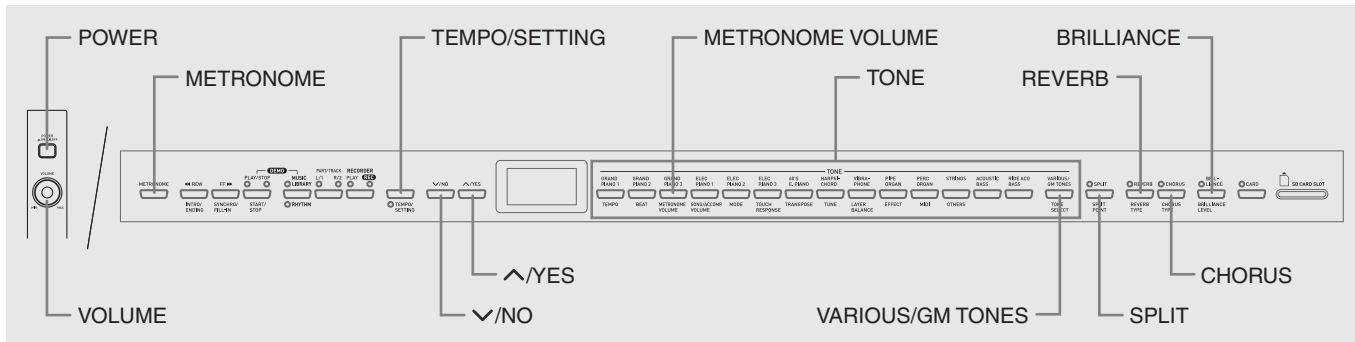
楽器用アンプと接続するには (図③)

LINE OUT R (Right) が右チャンネル、**LINE OUT L/MONO** (Left) が左チャンネルの音です。**LINE OUT L/MONO**だけに接続すれば、両方のチャンネルの混ざった音になります。市販の接続コードで図③のように接続してください。音量は本機の**VOLUME**つまみでも調節できます。

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

音色を選んで弾いてみる

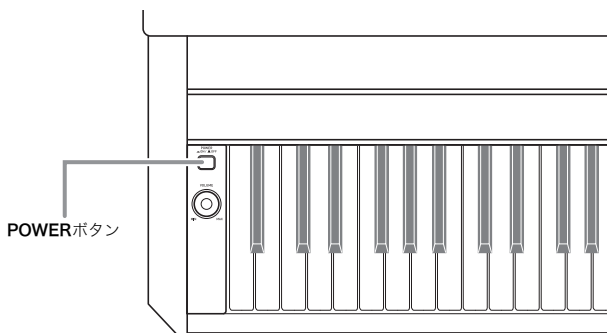


本機には、次の音色があります。

音色番号	音色タイプ	音色数
—	パネル音色	14音色
001~020番	VARIOUS (いろいろな) 音色	20音色
021~148番	GM音色	128音色
149~150番	ドラムセット	2セット

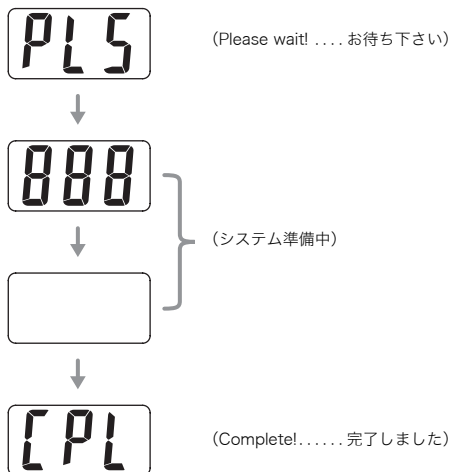
パネル音色を選んでみる

1. POWERボタンを押します。



重要!

- 本機は電源オン時にシステムの準備を行います。以下の画面表示を経て、約10秒後に使用可能となります。

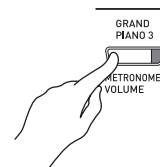


2. VOLUMEつまみで音量を調整します。

3. 14個のTONEボタンから、鳴らしたい音色のボタンを押します。

- 各ボタンの上にかかれた音色 (パネル音色) が選ばれます。
- 選んだTONEボタンが点灯します。

例：GRAND PIANO 3



メモ

- DSP*付き音色を選ぶと、付随するDSP効果がかかります。DSPをかけられるパートの数が限られているため、既にレイヤーやスプリットなど他のパートにDSP音色が選ばれているとその音色の発音が途切れ、DSP効果がかからなくなることがあります。(※ 20、22ページ参照)

VARIOUS音色/GM音色/ ドラムセット音色を選ぶ

本機のVARIOUS音色（20音色）やGM音色（128音色）、ドラムセット音色（2セット）の中から好きな音色を1つ選んで、VARIOUS/GM TONESボタンに割り当てできます。

1. 39ページのトーンリストで、割り当てたいVARIOUS音色/GM音色/ドラムセットの番号を調べます。

例：003番 DANCE PIANO

2. VARIOUS/GM TONESボタンを押します。

- ボタンのランプが点灯します。
- ボタンを押している間は、現在ボタンに割り当てられている音色の番号が表示されます。ボタンを離すと、曲またはリズムの番号の表示に戻ります。

例：001番 MELLOW PIANO

001

3. VARIOUS/GM TONESボタンに割り当てられている音色を変更するには、VARIOUS/GM TONESボタンを押したまま、▽/NOボタンまたは△/YESボタンを使って、選びたい音色の番号を表示させます。

003

- ▽/NOや△/YESボタンを押し続けると、番号が素早く切り替わります。

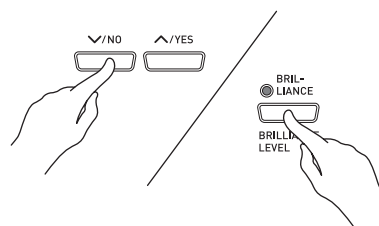
メモ

- VARIOUS/GM TONESボタンへの音色割り当ては、別の方法でも設定できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。
- VARIOUS/GM TONESボタンに割り当てられた音色は、電源を切るまで保持されます。
- ドラムセットを選ぶと、鍵盤で打楽器音を鳴らせます。各鍵盤への打楽器音の割当は、40ページを参照してください。

音色の明るさを調節するには (ブリリアンス)

ブリリアンスボタンを使うと、音色の「明るさ」を調節できます。

1. BRILLIANCEボタンを押します。
 - ボタンのランプが点灯し、音色にブリリアンス効果がかかります。初期設定では明るい感じの音に変わります。
2. BRILLIANCEボタンを押しながら、▽/NOボタンまたは△/YESボタンを押してブリリアンスのかかり方を設定します。



▽: まるやかな柔らかい感じの音になる

△: 明るく硬い感じの音になる

-2

3. ブリリアンス効果を解除するときは、BRILLIANCEボタンを押してボタンのランプを消灯させます。

メモ

- 手順2で▽/NOボタンと△/YESボタンを一緒に押すと、あらかじめ設定されている値になります。
- ブリリアンスのかかり方は、別の方法でも設定できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

2つの音色を重ねてみる (レイヤー)

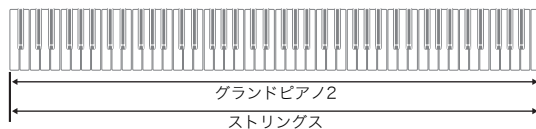
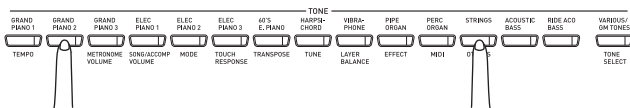
本機では、2種類の音色を重ねて演奏できます。

メモ

- VARIOUS音色やGM音色をメイン音色にしたい場合は、あらかじめ**VARIOUS/GM TONES**ボタンに選びたい音色を割り当てておきます。
- **VARIOUS/GM TONES**ボタンに割り当てする**VARIOUS**音色やGM音色同士を重ねることはできません。

1. メイン音色にしたい音色の**TONE**ボタンを押しながら、重ねたい音色の**TONE**ボタンを押します。
 - 先に押したボタンの音色がメイン音色に設定され、後から押したボタンの音色がレイヤー音色として設定されます。

例： **GRAND PIANO 2**ボタンを押しながら、**STRINGS**ボタンを押す。



メモ

- レイヤー音色として**VARIOUS/GM TONES**ボタンを押している場合は、番号が表示されます。
- **VARIOUS/GM TONES**ボタンを押している間、**✓/NO**ボタンまたは**^/YES**ボタンでレイヤー音色を変更できます。

100

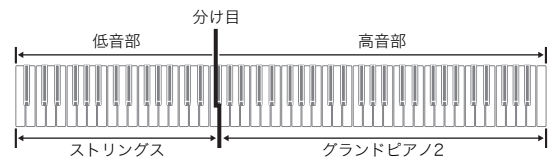
2. もとの1音色の状態に戻すには、**TONE**ボタンのどれかひとつを押します。

メモ

- 重ねている2つの音色の音量バランスを調節できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

2つの音色を左右に分けてみる (スプリット)

本機では、鍵盤を高音部、低音部に分けて、それぞれ別々の音色で演奏できます。



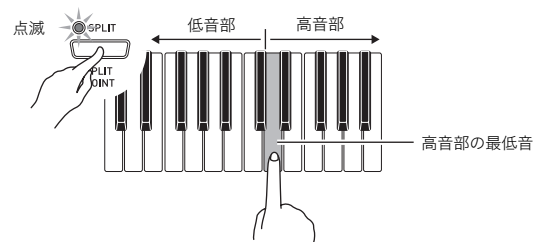
1. 高音部に選びたい音色の**TONE**ボタンを押します。
 - 例： GRAND PIANO 2
2. **SPLIT**ボタンを押します。
 - スプリットランプが点灯します。
3. 低音部に選びたい音色の**TONE**ボタンを押します。
 - 例： STRINGS
4. もとの1音色の状態に戻すには、**SPLIT**ボタンを押します。
 - スプリットランプが消灯します。

メモ

- スプリットの高音部にレイヤーを使用することができます。先にレイヤーの設定を済ませてから、スプリット音色を設定してください。

2つの音色の分け目を変えるには

1. **SPLIT**ボタンを押しながら、高音部の最低音（左端）にしたい鍵盤を押します。



d 3

メモ

- スプリットポイントは自動伴奏の伴奏鍵盤（13、14ページ）とメロディー鍵盤の境目もかねています。スプリットポイントを変更すると、伴奏鍵盤の範囲もそれに連れて変化します。
- スプリットポイントは、別の方法でも設定できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

音色に効果をかけてみる (エフェクト)

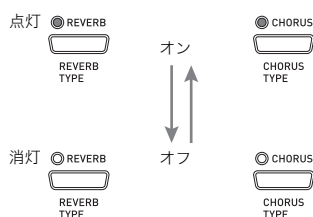
リバーブ…残響の効果

コーラス…音が広がるような効果

効果のオン・オフを切り替えるには

1. REVERBまたはCHORUSボタンを押すごとに、下図のように設定が切り替わります。

- エフェクトの設定状況は、リバーブ/コーラスランプで確認できます。

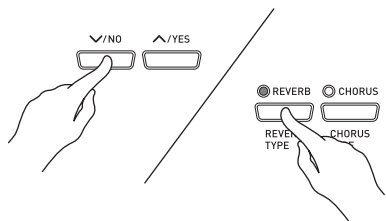


効果のタイプを変えるには

リバーブ、コーラスには各4タイプあります。

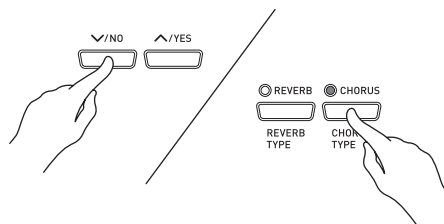
- 変更したいエフェクトをオンにします。
- REVERBまたはCHORUSボタンを押したまま、**▽/NO**または**△/YES**ボタンを押すごとに、以下のようにタイプ設定が切り替わります。

【リバーブ】



- リバーブの設定値
 - ルーム
 - 小ホール
 - 大ホール
 - スタジアム

【コーラス】



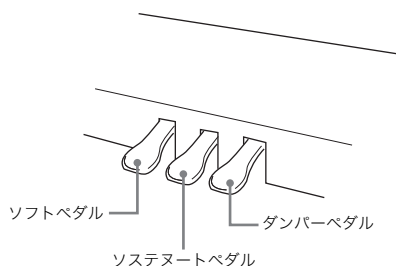
- コーラスの設定値
 - コーラス効果薄め
 - コーラス効果中位
 - コーラス効果深め
 - フランジャー（音にうねりを与える）

メモ

- コーラスは、レイヤーやスプリットを使用している場合にオン/オフを切り替えると、メイン音色はそのまま、レイヤーの時はレイヤー音色、スプリットの時はスプリット音色だけがオン/オフされます。

ペダルを使ってみる

ダンパー、ソフト、ソステヌートの3つのペダルがあります。



【各ペダルの働き】

- **ダンパーペダル**
演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音の余韻が非常に長くなります。
 - GRAND PIANO 1/GRAND PIANO 2/GRAND PIANO 3音色を選んでいる場合は、実際のグランドピアノでダンパーペダルを使用している時のような共鳴効果も生み出せます。また、途中まで踏んで軽く効果をかける「ハーフペダル」にも対応しています。
- **ソフトペダル**
演奏中にこのペダルを踏むと、ペダルを踏んでから鍵盤で弾いた音が弱まるだけでなく、音色が柔らかく聞こえる効果が得られます。
- **ソステヌートペダル**
このペダルを踏んだ時点で押さえている鍵盤の音だけ、ペダルを離すまで余韻が長くなる効果が得られます。

メトロノームを鳴らしてみる

1. METRONOMEボタンを押します。

- メトロノームが鳴ります。
- **START/STOP**ボタン上の2つのランプが拍子にあわせて点滅します。



2. METRONOMEボタンを押したまま、**∨/NO**または**∧/YES**ボタンを押して拍子を設定します。

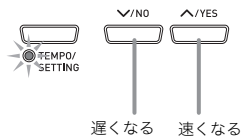


- 拍子は、2～6拍子の間で設定できます。「0」を設定すると、ベル音は鳴らずにクリック音のみが鳴ります。拍子にかかわらず練習するのに便利です。

3. TEMPO/SETTINGボタンを押します。

- ボタンのランプが点滅します。

4. **∨/NO**または**∧/YES**ボタンを押してテンポ(20～255)を設定します。



5. TEMPO/SETTINGボタンをもう一度押します。

- ボタンのランプが消灯します。

6. メトロノームを止めるには、METRONOMEボタンをもう一度押します。

メモ

- 拍子は、別の方法でも設定できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

メトロノームの音量の設定

メトロノームが鳴っている／鳴っていないに関わらず設定できます。

1. TEMPO/SETTINGボタンを押します。

- ボタンのランプが点滅します。

2. METRONOME VOLUMEボタンを押します。

- ボタンのランプが点滅します。

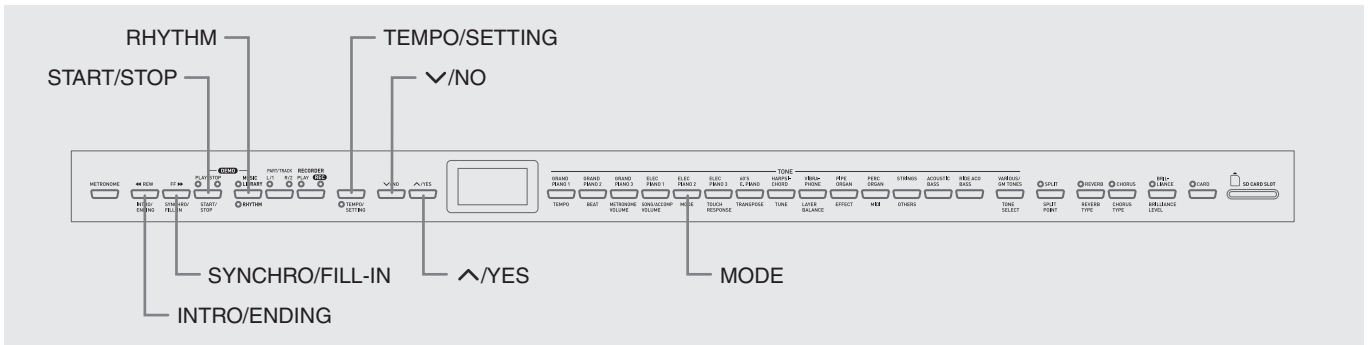
3. **∨/NO**または**∧/YES**ボタンを押してメトロノームの音量(0～42)を設定します。



4. TEMPO/SETTINGボタンをもう一度押します。

- ボタンのランプが消灯します。

リズムを鳴らしてみる

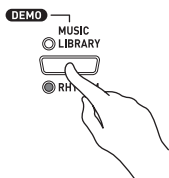


リズムを選ぶ

本機には20種類のリズムが内蔵されています。

1. RHYTHMボタンを押してリズムランプ(下側)を点灯させます。

- ボタンを押すごとにランプの点灯(上/下)が切り替わります。



- 現在選ばれているリズム番号が表示されます。



2. 41ページのリズムリストで、選びたいリズムの番号を調べます。

3. ✓/NOまたは^/YESボタンを押して、リズム番号を指定します。



4. START/STOPボタンを押します。

- 選んだリズムが鳴ります。

5. リズムを止めるには、もう一度START/STOPボタンを押します。

テンポを調節するには

1. TEMPO/SETTINGボタンを押します。

- ボタンのランプが点滅します。

2. ✓/NOまたは^/YESボタンを押してテンポ(20~255)を設定します。

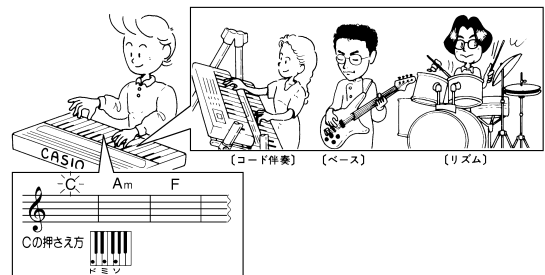


3. TEMPO/SETTINGボタンをもう一度押します。

- ボタンのランプが消灯します。

自動伴奏を使ってみる

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。1人でアンサンブル演奏のような楽しさが実現します。



メモ

- 以下のリズムは、モードをカシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかに設定した状態で、コードを指定してご使用ください。打楽器音は、ごく小さな音量で各リズムの雰囲気壊さない程度に入っています。

10	ROCK' N' ROLL
14	ARPEGGIO 1
15	ARPEGGIO 2
16	MARCH 1
17	MARCH 2
18	STRIDE PIANO
19	WALTZ 1
20	WALTZ 2

自動伴奏を使って演奏してみる

準備

- リズムを選び、テンポを調節しておきます。

1. TEMPO/SETTINGボタンを押します。
 - ボタンのランプが点滅します。
2. MODEボタンを押します。
3. ✓/NOまたは∧/YESボタンでコードの指定方法を次のモード (MODE) の中から選びます。

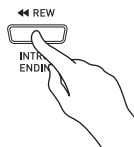
oFF : 標準
C.C. : カシオコード
FnG : フィンガード
FUL : フルレンジコード

- ここでは、指一本で指定できるカシオコードを使ってみましょう。



- コードの指定方法とモードについて詳しくは、次項をお読みください。

4. TEMPO/SETTINGボタンをもう一度押します。
 - ボタンのランプが消灯します。
5. SYNCHRO/FILL-INボタンを押します。
 - 伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を鳴らす状態になります。
 - START/STOPボタンの上にある2つのランプが点滅します。
6. INTRO/ENDINGボタンを押します。



7. 伴奏鍵盤で曲の最初のコードを指定します。
 - 選んだリズムに応じたイントロが鳴り、リズムとコード伴奏が同時にスタートします。
8. 曲のコードを次々と指定します。
 - 次項の「コードの指定方法について」をお読みください。
 - START/STOPボタン上の2つのランプが拍子にあわせて点滅します。

1拍目のタイミングにあわせて点滅 それ以外の拍のタイミングにあわせて点滅

メモ

- 曲の雰囲気の変わり目でSYNCHRO/FILL-INボタンを押すと、リズムが一時的に変化します。

9. 演奏を終わらせるには、INTRO/ENDINGボタンを押します。

- 選んだリズムに応じたエンディングが鳴り、リズムとコード伴奏が止まります。

メモ

- 手順6や9の代わりにSTART/STOPボタンを押すと、イントロやエンディングなしで伴奏を開始/終了できます。
- 伴奏の音量を調節できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

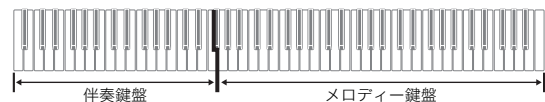
コードの指定方法について

コードの指定方法によって、モードを選びます。自動伴奏を使わない場合は、「標準」に設定します。

■ カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏/メロディー鍵盤】



重要!

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、9ページの「2つの音色の分け目を変えるには」を参照してください。

コードの種類	例
メジャーコード コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	音名→ C (Cメジャー)
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm (Cマイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7 (Cセブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス)

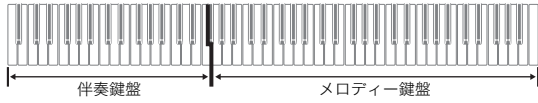
メモ

- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵/黒鍵を問わずどれでも使用できます。

■フィンガードについて

伴奏鍵盤の範囲内で、コードの構成音を押さえることにより、コードを指定する方法です。例えば、ド・ミ・ソと押さえると、Cのコードが指定されます。

【フィンガードの伴奏/メロディー鍵盤】



重要!

- フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、9ページの「2つの音色の分け目を変えるには」を参照してください。

<p>C(メジャー)</p> <p>ド ミ ソ</p>	<p>Cm(マイナー)</p> <p>ド ミ^b ソ</p>	<p>Cdim(ディミニッシュ)</p> <p>ド ミ^b ファ[#]</p>
<p>Caug(オーギュメント)*1</p> <p>ド ミ ラ</p>	<p>Csus4(サスフォー)</p> <p>ド ファソ</p>	<p>C7(セブンス)*2</p> <p>ド ミ ソ シ^b</p>
<p>Cm7(マイナーセブンス)*2</p> <p>ド ミ^b ソ シ^b</p>	<p>CM7(メジャーセブンス)*2</p> <p>ド ミ ソ シ</p>	<p>Cm7^b5(マイナーセブンスフラットファイブ)</p> <p>ド ミ^b ファ[#] シ^b</p>
<p>C7^b5(セブンスフラット)*1 ファイブ</p> <p>ド ミ ファ[#] シ^b</p>	<p>C7sus4(セブンスサスフォー)</p> <p>ド ファソ シ^b</p>	<p>Cadd9(アドナインズ)</p> <p>ドレミ ソ</p>
<p>Cm add9(マイナーアドナインズ)</p> <p>ドレミ^b ソ</p>	<p>CmM7(マイナーメジャーセブンス)*2</p> <p>ド ミ^b ソ シ</p>	<p>Cdim7(ディミニッシュセブンス)*1</p> <p>ド ミ^b ファ[#] ソ</p>

メモ

- 根音が「C」以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(42ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

- *1 転回形(右のメモを参照)は使えません。最低音が根音となります。
- *2 5度のソの音を押さえずとも、同じコードが指定できます。

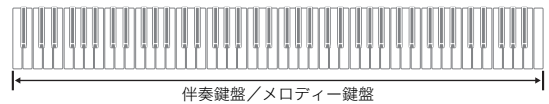
メモ

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方(例えばCを「ドミソ」と押さえる)だけでなく、転回形(コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる)も有効です。
...※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
...※2のコードを除く。

■フルレンジコードについて

この方法で指定できるコードは、フィンガードの15種類に23種類を加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を3つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外(本機が判別できないコードや2つ以下の鍵盤を押している場合)ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

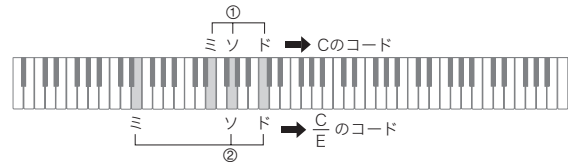
【フルレンジコードの伴奏/メロディー鍵盤】



●本機で判別できるコード

分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類 (14ページ「フィンガードについて」参照)
それ以外のコード	23種類 以下は、「C」をベース音とした場合の例です C ₆ , Cm ₆ , C ₆₉ D ^b , D, E, F, G, A ^b , B ^b C, C, C, C, C, C, C, C, B, D ^m , Dm, Fm, Gm, Am, B ^m C, C, C, C, C, C, C, C, Ddim, A ^b 7, F7, Fm7, Gm7, A ^b add9 C, C, C, C, C, C

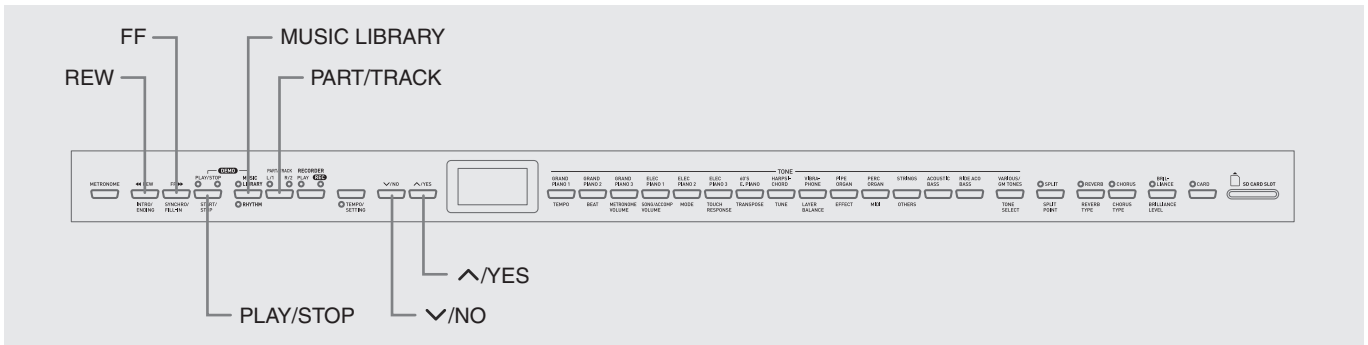
(例) Cメジャーまたは $\frac{C}{E}$ コードの場合



メモ

- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。

曲を聴いてみる(デモ演奏/ミュージックライブラリー)



重要!

- 本機では、曲を変更すると数秒間、曲データの読み込みを行います。この間は曲番号の表示が点滅し、鍵盤演奏やボタン操作ができません。また、鍵盤演奏中にこの操作を行うと発音が停止します。

デモ演奏を聴いてみる

本機には次の内蔵曲があります。この全74曲を連続して聴くことができます。

内蔵曲	曲数	演奏中は・・・
パネル音色デモ曲	14曲	演奏中のパネル音色に対応したTONEボタンが点滅し、曲番号が表示される
ミュージックライブラリー内蔵曲	60曲	ミュージックライブラリーランプが点滅し、曲番号が表示される

1. MUSIC LIBRARYボタンを押しながら、PLAY/STOPボタンを押します。

- t.01番からL.60番までの74曲を、番号順に繰り返してデモ演奏します。
- デモ演奏にあわせて、メロディー音色で鍵盤演奏ができます。
- デモ演奏中に▽/NOまたは△/YESボタンで曲を変更できます。
- デモ演奏中にお好きなTONEボタンを押すと、その音色のデモ曲の先頭にジャンプします。また、パネル音色デモ曲の演奏中にMUSIC LIBRARYボタンを押すと、ミュージックライブラリーL.01番曲の先頭にジャンプします。
- ▽/NOと△/YESボタンを一緒に押すと、パネル音色を使ったデモ曲のt.01番に戻ります。

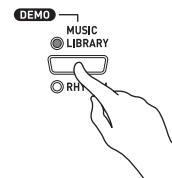
2. デモ演奏を止めるには、PLAY/STOPボタンを押します。

ミュージックライブラリーの曲を1曲ずつ聴いてみる

ミュージックライブラリーには、内蔵曲(01~60番)と、パソコン※やSDメモリーカード(27ページ「SDメモリーカードを使うには」)から本機に呼び出した曲(61~70番:最大10曲)があります。この中から1曲ずつ選んで聴いてみるすることができます。

※インターネットでダウンロードした曲をパソコンから転送します。詳しくは、25ページの「ミュージックライブラリーの曲を増やすには」を参照してください。

1. MUSIC LIBRARYボタンを押してミュージックライブラリーランプ(上側)を点灯させます。



- ボタンを押すごとにランプの点灯(上/下)が切り替わります。
- 現在選ばれている曲番号が表示されます。



2. 41ページのソングリストで、選みたい曲の番号を調べます。

3. ▽/NOまたは△/YESボタンを押して、曲を選びます。



4. PLAY/STOPボタンを押します。

- 選んだ曲が鳴ります。
- 曲の再生中は、小節数が表示されます。



メモ

- 再生中の曲番号を確認する場合は、MUSIC LIBRARYボタンを押します。
- 曲の再生中、✓/NOまたは^/YESボタンを押して曲を変更できます。

5. 曲を止めるには、もう一度PLAY/STOPボタンを押します。

- 曲が最後まで演奏されると自動的に演奏が止まります。

メモ

- ✓/NOと^/YESボタンを一緒に押すと、01番の曲が選ばれます。

曲を早戻しするには

1. 曲の演奏中にREWボタンを押し続けます。

- 1小節単位で早戻しを始めます。
- 早戻し中の小節数を表示します。



2. REWボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

メモ

- 再生処理の都合上、REWボタンを押してから早戻しが始まるまでに、時間のかかることがあります。

曲を早送りするには

曲を早送りするには

1. 曲の演奏中にFFボタンを押し続けます。

- 1小節単位で早送りを始めます。
- 早送り中の小節数を表示します。



2. FFボタンを離すと、その位置から曲の演奏を始めます。

メモ

- 演奏のテンポや曲の音量、曲の頭でカウントを「鳴らす/鳴らさない」を設定できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

ミュージックライブラリーの曲を練習してみる

ミュージックライブラリー曲の右手パートまたは左手パートの音を消して、自分で弾く練習ができます。

メモ

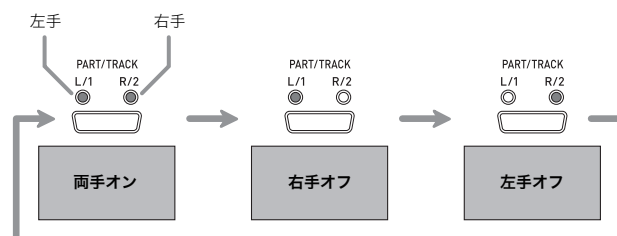
- ミュージックライブラリーには、連弾曲が入っています。連弾曲を選んだ場合は、第1ピアノ<Primo>または第2ピアノ<Secondo>の音を消して、自分で弾く練習ができます。

準備

- ミュージックライブラリー曲を選び、テンポを設定しておきます。
- 曲を演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。

1. PART/TRACKボタンを押して、音を消したいパートを選びます。

- ボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯/消灯します。消したいパートのランプを消灯させます。



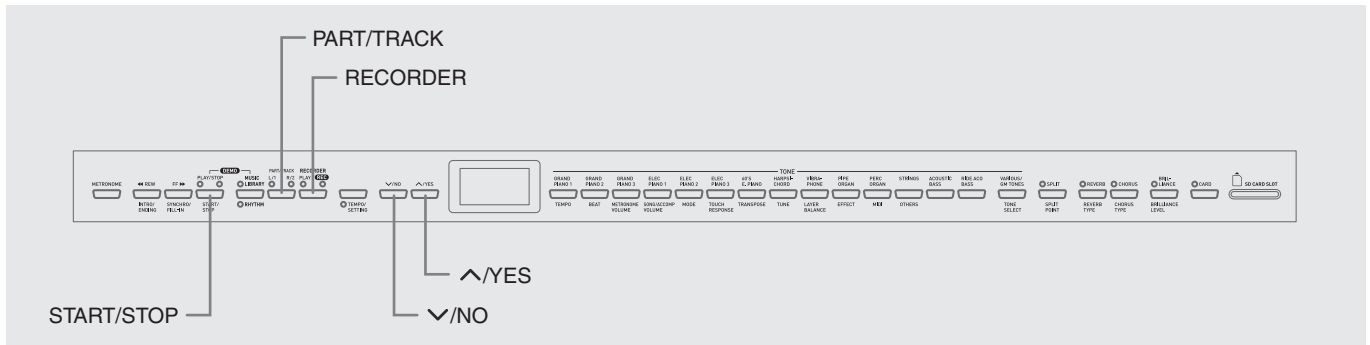
2. PLAY/STOPボタンを押します。

- 演奏が始まります。操作1で選んだパートは鳴りません。

3. 音を消したパートを自分で弾きます。

4. 曲を止めるには、もう一度PLAY/STOPボタンを押します。

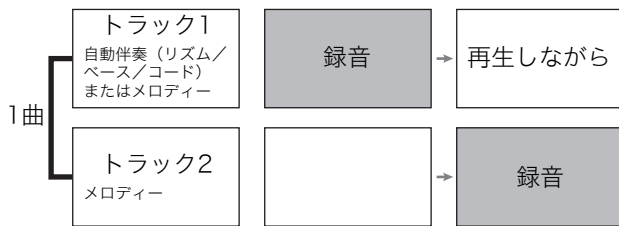
演奏を録音／再生してみる(録音機能)



本機で演奏した内容を録音して、再生できます。録音は最大5曲まで行うことができます。

曲とトラックについて

1曲につき、2つのトラック（録音内容が記録される場所）で構成されています。トラック1、トラック2と順番に録音していけば、録音後に2つのトラックを1つの曲として、一度に再生することができます。



録音できる容量

- 5曲合わせて、約50,000音符（1曲あたり最大約10,000音符）まで録音できます。
- 演奏の途中で録音できる容量をこえると、RECランプが消灯して自動的に録音が止まります。

録音される内容

- 鍵盤演奏
- 演奏に使った音色
- ペダル操作

■トラック1のみ

- テンポ設定
- レイヤー／スプリット設定
- リバース／コーラス設定
- リズム
- コード指定
- イントロ／フィルイン／エンディング操作

録音内容の保持

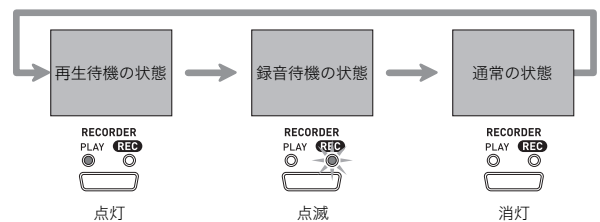
- 新しく録音した時点で、前の録音内容は消去されます。
- 録音中に電源が切れると、録音してあった内容はすべて消去されます。
- 録音内容は、SDメモリーカードに保存することができます。詳しくは、27ページの「SDメモリーカードを使うには」を参照してください。

重要!

- 本機の故障、修理などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機では、曲を変更すると数秒間、曲データの読み込みを行います。この間は曲番号の表示が点滅し、鍵盤演奏やボタン操作ができません。また、鍵盤演奏中にこの操作を行うと発音が停止します。

RECORDERボタンの使い方

RECORDERボタンを1回押すごとに、以下のように状態が切り替わります。

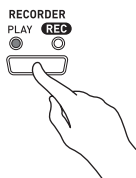


演奏を録音してみる

1曲につき、まずトラック1か2を選んで録音し、さらに録音したトラックの再生に合わせてもう一方のトラックに録音できます。

曲とトラックを選んで録音するには

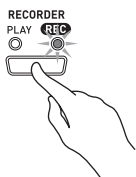
1. RECORDERボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



2. √/NOや∧/YESボタンで曲番号（1～5）を選びます。



3. RECORDERボタンを押して、RECランプを点滅させます。



- L1ランプが点滅し、トラック1へ録音待ちの状態になります。



4. PART/TRACKボタンを押して、録音するトラックを選びます。

- 録音したいトラックのランプを点滅させます。
トラック1：L/1ランプ
トラック2：R/2ランプ

メモ

- リズムや自動伴奏をつけて録音したい場合は、トラック1を選びます（L/1ランプ点滅）。

5. 録音に使う音色やエフェクトを選び、テンポを設定しておきます。トラック1に伴奏を録音する場合は、リズムやモードも選んでおきます。

- 音色（7ページ）
- エフェクト（10ページ）
- テンポ（12ページ）

- トラック1のみ
- リズム（12ページ）
- モード（13ページ）

メモ

- テンポを遅めに設定しておくとい良いでしょう。
- メトロノームを鳴らしたい場合は、METRONOMEボタンを押します。

6. 演奏を開始します。

- 自動的に録音が始まります。

メモ

- リズム／自動伴奏を鳴らしてトラック1へ録音する場合：START/STOPボタンを押して録音を開始します。SYNCHRO/FILL-INボタン、INTRO/ENDINGボタンを押してから、コードを押さえて録音を開始することもできます。
- リズム／自動伴奏無しでトラック1へ録音する場合：鍵盤を弾くと同時に録音が始まります。

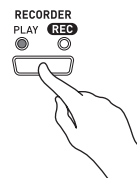
7. 録音を止めるには、START/STOPボタンを押します。

- リズム／自動伴奏を鳴らしてエンディングをつけた場合は、INTRO/ENDINGボタンを押します。
- RECランプが消灯し、PLAYランプが点灯します。
- 録音した内容をすぐに再生したい場合は、もう一度START/STOPボタンを押します。

8. 録音や再生が終わったら、RECORDERボタンを押して、PLAYランプとRECランプを消灯させておきます。

録音済みのトラックの再生を聴きながら、もう一方のトラックに録音するには

1. RECORDERボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



2. √/NOや∧/YESボタンで曲番号（1～5）を選びます。



既に録音済みのトラックがある場合に点灯

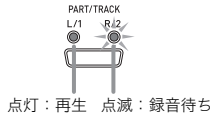
3. RECORDERボタンを押して、RECランプを点滅させます。

- L/1ランプが点滅します。

4. PART/TRACKボタンを押して、録音するトラックを選びます。

- 録音するトラックのランプを点滅させます。

例：録音済みのトラック1を聴きながら、トラック2へ録音する



点灯：再生 点滅：録音待ち

5. 必要に応じて、録音に使う音色やエフェクトを選びます。

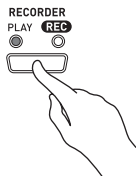
6. START/STOPボタンか鍵盤を押して、演奏を開始します。

- 録音済みトラックの再生と別トラックへの録音が同時に始まります。

7. 録音を止めるには、START/STOPボタンを押します。

録音した演奏を再生してみる

1. RECORDERボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



2. √/NOや∧/YESボタンで、再生したい曲番号(1~5)を選びます。



メモ

- 両方のトラックに録音済みの場合、一方のトラックの音を消して再生できます。PART/TRACKボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯/消灯します。音を消したいトラックのランプを消灯させます。

3. START/STOPボタンを押します。

録音した内容が再生されます。

メモ

- 再生時は、テンポを変えることができます。
- 再生の音色を変えることはできません。
- 途中で止める時には、もう一度START/STOPボタンを押します。

録音した内容を消去するには

録音した内容をトラック単位で消去します。

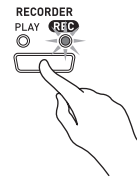
重要!

- 以下の操作を完了すると同時に、録音した内容が消去され、元に戻すことはできません。消去しようとしている内容を一度再生して、消去してもよいことをご確認の上、以下の操作を行うことをお勧めします。

1. RECORDERボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。

2. √/NOや∧/YESボタンで消去したいトラックのある曲番号(1~5)を選びます。

3. RECORDERボタンを押して、RECランプを点滅させます。



4. PART/TRACKボタンを押して、消去したいトラックを選びます。

- 選んだトラックのランプが点滅します。

5. RECORDERボタンを長押しします。

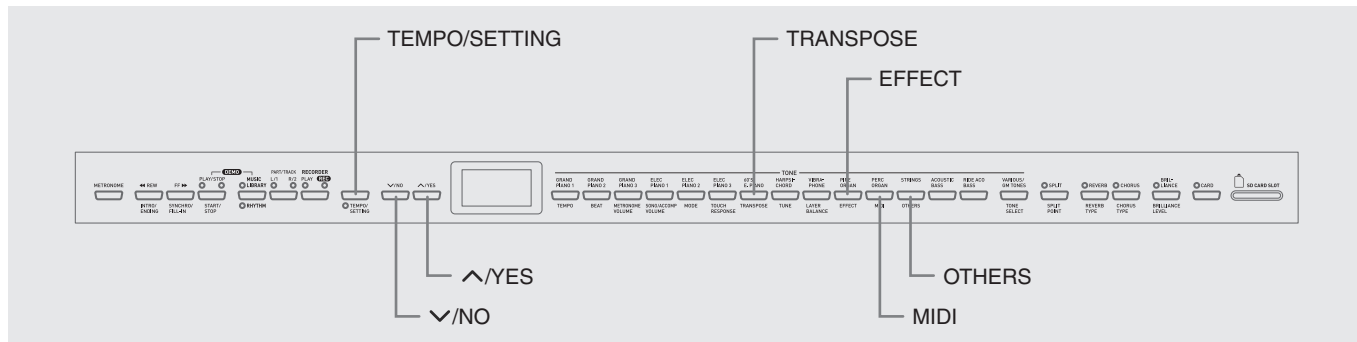
- “dEL” (dELete) が表示されます。



6. ∧/YESボタンを押します。

- 選んだトラックの録音内容が消去され、再生待機の状態になります。
- 操作を中止したい場合は、√/NOボタンを押します。

その他の設定



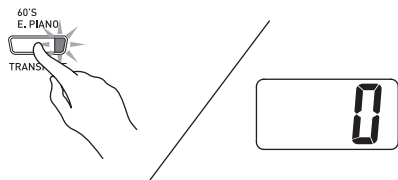
鍵盤の調やタッチの設定、MIDIの設定など、本機を使うためのさまざまな設定ができます。

- 操作はどの設定でも共通です。以下の「設定するには」の操作例をご覧ください。
- 設定できる項目やその説明は、22ページの「設定項目一覧表」をご覧ください。

設定するには

1. 設定したい項目を22ページの「設定項目一覧表」から選び、使用するボタン名を確認します。
例：鍵盤の調を設定したい場合に使用するボタン名は、「TRANSPOSEボタン」
2. TEMPO/SETTINGボタンを押します。
 - ボタンのランプが点滅します。
3. 手順1で確認したボタンを押します。
 - ボタンのランプが点滅し、表示部に現在の設定値が表示されます。

例：TRANSPOSEボタン



- EFFECTボタン、MIDIボタン、OTHERSボタンには、2つ以上の設定項目が割り当てられています。ボタンを押すごとに設定項目が表示されます。詳しくは、次項目を参照してください。

4. ✓/NOボタンまたは^/YESボタンを使って、設定値を変更します。

例：調を半音下げるときは、設定値を-1にします。



5. TEMPO/SETTINGボタンを押して、設定を終了します。

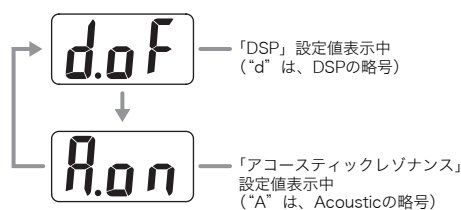
- ボタンのランプが消灯します。

メモ

- ✓/NOボタンと^/YESボタンを一緒に押すと、あらかじめ設定されている値になります。

EFFECTボタンを使う設定の場合

前項目の手順3で、EFFECTボタンを押すごとに、図のように設定項目が表示されます。

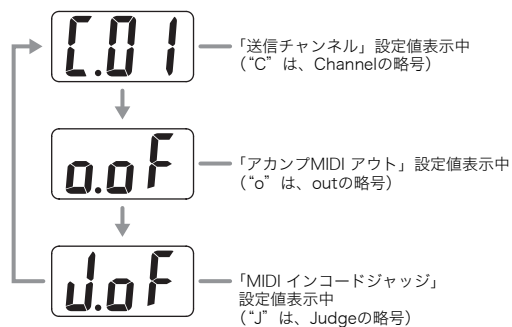


メモ

- DSPは、レイヤーやスプリットを使用している場合にオン/オフを切り替えると、メイン音色はそのまま、レイヤーの時はレイヤー音色、スプリットの時はスプリット音色だけがオン/オフされます。
- もともとDSPを使用していない音色では、DSPをオンにしてもDSPの効果はかかりません。
- もともとアコースティックレゾナンスを使用していない音色では、アコースティックレゾナンスをオンにしてもアコースティックレゾナンスの効果はかかりません。

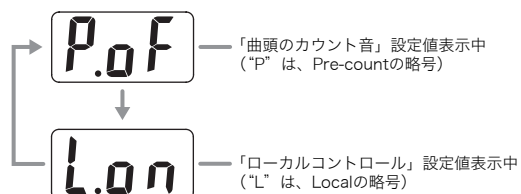
MIDIボタンを使う設定の場合

前項目の手順3で、MIDIボタンを押すごとに、図のように設定項目が表示されます。




OTHERSボタンを使う設定の場合

前項目の手順3で、OTHERSボタンを押すごとに、図のように設定項目が表示されます。




設定項目一覧表










■ 鍵盤の設定

項目	使用するボタン名	設定値	内容
鍵盤のタッチ	TOUCH RESPONSE	oFF：オフ 1：弱めに弾いても大きな音、強い音が出る 2：標準 3：強めに弾いて、標準の音が出る	鍵盤を弾くときの強弱感度を設定します。
鍵盤の調	TRANSPOSE	－6～0～5	鍵盤全体の調を半音単位で上下させることができます。  メモ ・トランスポーズ機能を使って鍵盤の音を高くしている場合、音色によっては最高鍵域で音の高さが不明瞭になる場合があります。
音程の調整	TUNE	－50～0～50	本機全体のピッチをA4=440.0Hzから上下50セント(100セント=半音)の範囲で設定します。

■ 音色についての設定

項目	使用するボタン名	設定値	内容
VARIOUS/GM TONES ボタンへの音色割り当て	TONE SELECT	39ページの「トーンリスト」参照	VARIOUS/GM TONESボタンに、本機のVARIOUS音色やGM音色、ドラムセット音色の中から音色を1つ選んで、割り当てすることができます。
レイヤー音色の音量バランス	LAYER BALANCE	－24～0～24	レイヤー音色の音量バランスを設定します。数値を低くするほど、レイヤー音色の音量が下がります。
スプリットポイント	SPLIT POINT	A0～C8*	9ページ参照
リバーブタイプ	REVERB TYPE	1～4	10ページ参照
コーラスタイプ	CHORUS TYPE	1～4	10ページ参照
ブリリアンスレベル	BRILLIANCE LEVEL	－3～－1、1～3	8ページ参照
アコースティックレゾナンス	EFFECT	A.oF：オフ A.on：オン	■ GRAND PIANO 1/GRAND PIANO 2/GRAND PIANO 3音色のみ アコースティックレゾナンスとは、ダンパーペダル使用時に、グランドピアノ内部で起こる共鳴効果を再現する効果です。この効果のオン/オフを設定します。設定操作時には20ページの「EFFECTボタンを使う設定の場合」を参照してください。
DSP	EFFECT	d.oF：オフ d.on：オン	■ 一部の音色のみ DSPとは、音色ごとにあらかじめかかっている複合的な音響効果です。例えば、ドロワーオルガン音色にはロータリースピーカーがかかっています。この効果のオン/オフを設定します。設定操作時には20ページの「EFFECTボタンを使う設定の場合」を参照してください。  メモ ・DSPの有無と種類は、39ページのトーンリストを参照してください。

※ <表示の見方>

表示									
設定値	A	B	C	D	E	F	G	F#3	B♭5

■ 曲/リズム/メトロノームについての設定

項目	使用するボタン名	設定値	内容
テンポ	TEMPO	20~255	ミュージックライブラリー曲やメトロノーム、自動伴奏の再生、録音機能の録音/再生などのテンポを設定します。
メトロノームの拍子	BEAT	0、2~6	メトロノームの拍子を設定します。
メトロノームの音量	METRONOME VOLUME	0~42	メトロノームの音量を設定します。
曲/伴奏の音量	SONG/ ACCOMP VOLUME	0~42	リズムとコード伴奏の音量や内蔵曲の音量を全体の音量とは別に設定します。
曲頭のカウント音	OTHERS	P.oF : オフ P.on : オン	ミュージックライブラリー曲の再生で、曲の開始前にカウント音をつけるかつけないかを設定します。設定操作時には21ページの「OTHERSボタンを使う設定の場合」を参照してください。  メモ <ul style="list-style-type: none"> ユーザーエリアの曲やSDメモリーカードの曲については、カウント音設定をオンにしてもカウント音が鳴らない場合があります。
自動伴奏のモード	MODE	oFF : 標準 C.C. : カシオコード FnG : フィンガード FUL : フルレンジコード	自動伴奏のコードを設定します。

■ MIDI関連の設定

項目	使用するボタン名	設定値	内容
送信チャンネル	MIDI	C.01~C.16	本機のMIDIメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルを1~16のMIDIチャンネルの中から1つ設定します。設定操作時には21ページの「MIDIボタンを使う設定の場合」を参照してください。
アンプMIDIアウト	MIDI	o.oF : オフ o.on : オン	本機の自動伴奏による演奏や録音機能による再生をMIDIメッセージとして送信するか、しないかを設定します。設定操作時には21ページの「MIDIボタンを使う設定の場合」を参照してください。
MIDIインコードジャッジ	MIDI	JoF : オフ J.on : オン	外部の機器から伴奏鍵盤域のMIDIノートオンメッセージを受信したとき、自動伴奏のコード判定を行うか、行わないかを設定します。設定操作時には21ページの「MIDIボタンを使う設定の場合」を参照してください。
ローカルコントロール	OTHERS	LoF : オフ Lon : オン	本機の内部で、鍵盤部分と音源部分を電氣的に切り離すか、離さないかの設定です。オフにすると、鍵盤と音源が切り離され、鍵盤を弾いても音が鳴らなくなります。外部のシーケンサーなどを使って本機の自動演奏を行う場合に、本体の鍵盤に触れても音を出さないようにできます。設定操作時には21ページの「OTHERSボタンを使う設定の場合」を参照してください。

パソコンとの接続について

MIDI端子での接続

MIDIについて

電子楽器同士、あるいは電子楽器とパソコン機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。

メモ

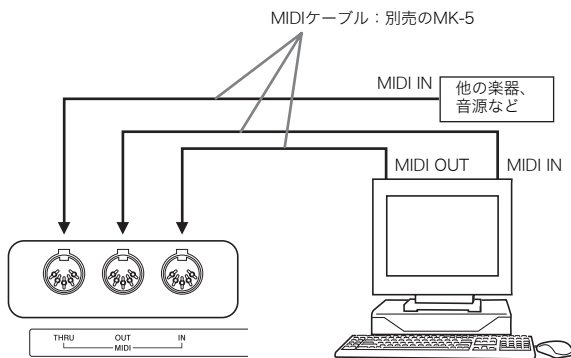
- MIDIインプリメンテーションの詳細は <http://www.casio.co.jp/emi/> を参照してください。

MIDIの接続について

パソコンなどの外部機器に本機の演奏内容を録音／再生する場合は、お互いのMIDI THRU/OUT/IN端子同士を接続して、双方向でMIDIメッセージのやり取りができるようにします。

また、MIDI THRU端子は、MIDI IN端子から入ってきたMIDIメッセージをそのまま送信する働きがあります。

【底面部】



MIDI関連の設定について

前項目の「その他の設定」(20ページ)で、MIDI関連設定を行うことができます。設定の項目や操作については、22ページをご参照ください。

USB端子での接続

本機のUSB端子を使えば、パソコンと簡単に接続できます。付属のCD-ROM内のUSB MIDIドライバをUSB端子を備えたパソコンにインストールし、本機のUSB端子と接続すれば、市販のパソコン用MIDIソフトウェアによるパソコンと電子楽器のMIDI情報の送受信が行えます。また、カシオのホームページ(CASIO MUSIC SITE)からダウンロードしたデータファイルを本機に送信することができます。USB端子を備えたパソコンと本機のUSB端子を接続するには、市販のUSBケーブルが必要です。

接続方法

1. USB端子を備えたパソコンに、USB MIDIドライバをインストールしておきます。

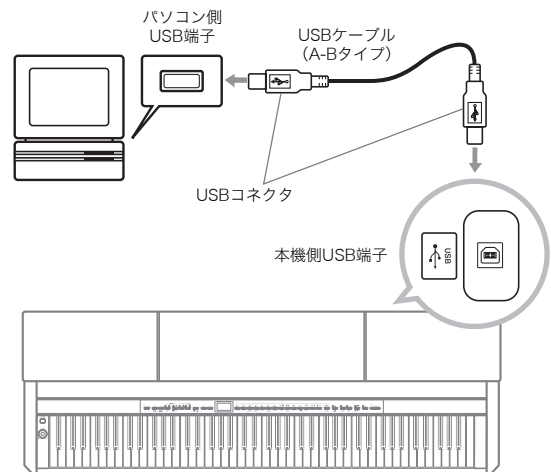
メモ

- USB MIDIドライバをインストールする前に、付属のCD-ROMの中にあるreadme.txtを必ずお読みください。
- USB MIDIドライバのインストール方法については、付属のCD-ROMの中にある「CASIO USB MIDIドライバマニュアル(manual.pdf)※1」を参照してください。

2. 市販のUSBケーブル(A-Bタイプ)を使って、本機とパソコンを接続します。

重要!

- 本機へUSBケーブルを抜き差しする際は、本機の電源を切った状態で行ってください。



※1「CASIO USB MIDIドライバマニュアル (manual.pdf)」を参照するためには、ご使用のパソコンにAdobe ReaderもしくはAcrobat Readerが事前にインストールされている必要があります。いずれもインストールされていない場合は、以下の手順にしたがってインストールしてください。

Adobe Reader (Acrobat Reader^{※2}) のインストール方法

- 付属のCD-ROMを、お使いのパソコンのCD-ROMドライブに入れてください。
- CD-ROMの中のAdobeフォルダの中の「ar601jpn.exe」(「ar505jpn.exe」^{※2})をダブルクリックし、表示される説明にしたがってインストールします。

※2 Adobe Readerは、Windows 98にはインストールできません。Windows 98をご使用の方は、「ar505jpn.exe」をダブルクリックしてAcrobat Readerをインストールしてください。

動作環境

ドライバ対応OS

Windows[®] XP Professional、Windows[®] XP Home Edition、Windows[®] 2000 Professional、Windows[®] Me、Windows[®] 98SE、Windows[®] 98に対応します。

ドライバ動作環境

ドライバは、以下の環境で動作します。

● 共通条件

- IBM ATおよびその互換機
- USBポートを装備し、Windows上で正常に動作していること
- CD-ROMドライブを装備(インストール時に使用)
- ハードディスクの残り容量2MB以上 (Adobe Reader分は含まず)

● Windows XPでの条件

- Pentium 300MHz以上
- メモリ128MB以上

● Windows 2000での条件

- Pentium 166MHz以上
- メモリ64MB以上

● Windows Me, Windows 98SE, Windows 98での条件

- Pentium 166MHz以上
- メモリ32MB以上

USBモード・MIDIモードについて

USB端子とMIDI端子、どちらの端子を働くようにするかは、本機がUSBモード・MIDIモードのどちらになっているかによります。

本機とパソコンのUSB端子同士をつなぎ、パソコンにインストールされたUSBドライバとの接続が成立したときには、自動的にUSBモードとなります。そうでない場合(パソコンのUSB端子と接続されていないなど)には、MIDIモードになります。

● USBモード



USB接続が成立したときに、約3秒間表示されます。USBモードのときの各MIDIデバイスの機能については、付属のCD-ROMの中にある「CASIO USB MIDIドライバマニュアル (manual.pdf)」を参照してください。

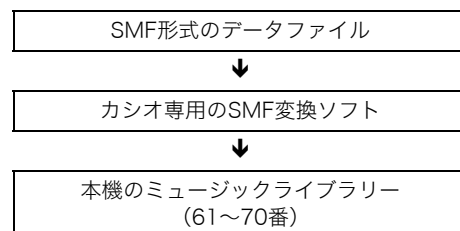
● MIDIモード



USB接続が切り離されたときに、約3秒間表示されます。本機がMIDIモードのときは、データ送受信をMIDI端子から行います。

ミュージックライブラリーの曲を増やすには

パソコンからダウンロードした曲データファイルを本機のミュージックライブラリー(61~70番:最大10曲)へ保存して、内蔵曲と同じように再生したり、練習したりできます。付属のCD-ROMに入っているカシオ専用のSMF変換ソフト(SMFコンバーター)を使って、ご自身で購入/作成したSMF形式のデータファイルを本機へ送信して保存します。



📌 メモ

- 本機で曲の再生中や録音中、データの保存/呼び出し中等は、パソコンからのデータ転送ができません。操作を終了してから、データ転送を行ってください。

SMF変換ソフト（SMFコンバーター）をインストールするには

1. USB端子を備えたパソコンに、付属のCD-ROMの中にあるSMF変換ソフト（SMFコンバーター）をインストールします。
 - CD-ROM中の“SMFConv-j.exe”をダブルクリックし、表示される説明にしたがってインストールします。

※ インストールの前に必ず、CD-ROMの中の各言語フォルダの“smfreadme.txt”をお読み下さい。

SMFコンバーターのご使用方法については、SMFコンバーターをインストールしたフォルダ内にある「help」フォルダの「index.html」または、スタートメニューから [プログラム]→[CASIO]→[SMF Converter]→[manual]をクリックしてご参照ください。

※ マニュアルをみる場合は、Internet Explorer 4または Netscape Navigator 4.04以上のフレーム対応ブラウザでお読みください。

動作環境

● 対応OS

Windows 98SE
Windows Me
Windows XP Professional
Windows XP Home Edition

● 条件

ハードディスクの残り容量10MB以上

● USBインターフェース

なお、カシオのホームページからもSMF変換ソフトを入手できます。

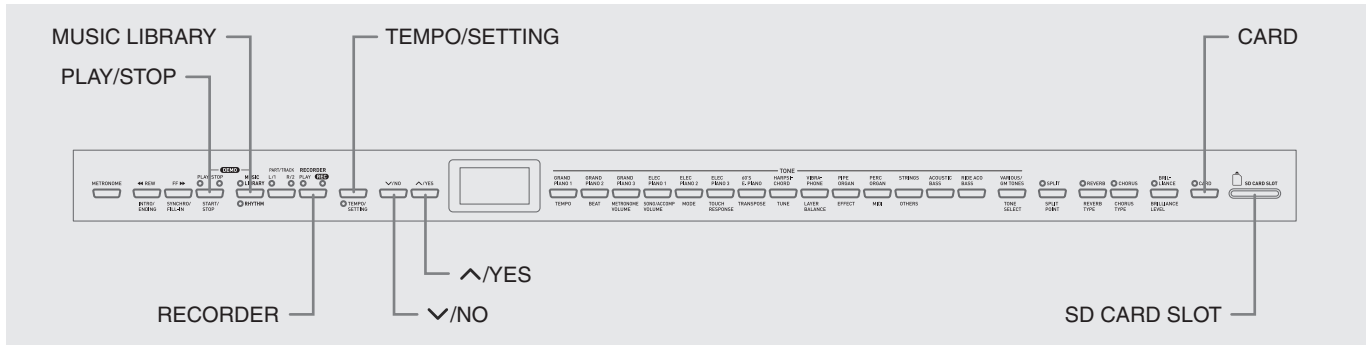
カシオ・ミュージック・サイト
<http://music.casio.co.jp/>

※ 各ソフトのインストール方法や使い方、曲データファイルの購入方法、本機との接続などの詳細、最新情報についても、あわせてカシオのホームページでご確認ください。

メモ

- 本機はSMFフォーマット0、1に対応しています。

SD メモリーカードを使うには



本機には、SDメモリーカードスロットが装備されており、本機の録音した曲データを市販のSDメモリーカードに保存することができます。



また、SDメモリーカードに保存されているSMF曲やカシオ専用フォーマットの曲データを本機に呼び出したり再生できます。

● 対応可能なSDメモリーカード：

1GBまで。これより大きい容量のSDメモリーカードは、使用できません。

● 使用可能なデータファイルの種類とSDメモリーカードでできること

データファイルの種類	表示※1	拡張子	できること
SMF形式のデータ (フォーマット0)	U (v)	.MID	再生、ユーザーエリアへの呼び出し、SDメモリーカードへの保存※2
SMF形式のデータ (フォーマット1) ※3	U (v)	.MID	再生、ユーザーエリアへの呼び出し
カシオ専用のSMF変換ソフトを使って変換した曲データ (カシオ専用フォーマット)	C (d)	.CM2	再生、ユーザーエリアへの呼び出し
本機で録音した曲データ (カシオ専用フォーマット)	r (q)	.CSR	録音エリアへの呼び出し、SDメモリーカードへの保存

※1 データファイル名の左2文字部分が本機規定の数字ではない、一般のファイル名のファイルの場合、() 内のアルファベットで表示されます。

※2 本機で録音した曲データを、SMFフォーマット0で保存できます。

※3 本機ではトラック数が17を越えるデータファイルを正しく扱えません。

● データファイル表示について



データファイルの種類 ファイル番号 (01~99)

重要!

- メモリーカードは必ずSDメモリーカードを使用してください。他のメモリーカードをお使いの場合は動作保証できません。

SDメモリーカードとSDメモリーカードスロットの取り扱い上の注意

重要!

- SDメモリーカードの取り扱い時は、SDメモリーカードに付属の取扱説明書の注意事項をお守りください。
- SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤って消去する不安があるときは使用してください。
- 以下のような場所での保管、使用は避けてください。SDメモリーカード上のデータが壊れる場合があります。
 - 高温多湿、腐食性のある場所
 - 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい場所
- SDメモリーカードの抜き差し時、接触面に直接触れないでください。
- 本機がSDメモリーカードとデータをやり取りしているときは、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。SDメモリーカード上のデータが壊れたり、SDメモリーカードスロットが故障したりする場合があります。
- SDメモリーカードスロットには、指定のSDメモリーカード以外は決して入れないでください。故障の原因となります。
- 静電気を帯びたSDメモリーカードを本機のSDメモリーカードスロットに入れると、本機が誤作動する場合があります。このような場合は、一度本機の電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- 長時間使用した後、取り出したSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに保存や読み出し、削除ができなくなります。その場合は、新しいSDメモリーカードをお買い求めください。

* SDメモリーカードに保存した内容の消失、障害については、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本機でSDメモリーカードを使う際には

本機でSDメモリーカードを使う際には、まず最初に必ず本機でフォーマットをしてください。フォーマットの方法については、30ページの「SDメモリーカードのフォーマット」を参照してください。

SDメモリーカードを入れる／取り出す

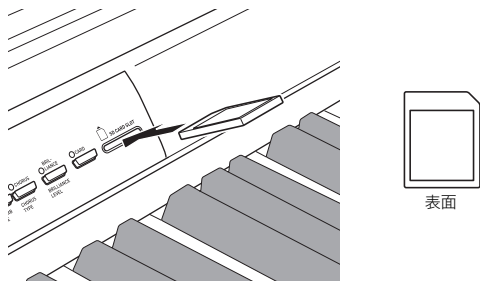
重要!

- SDメモリーカードには、表裏、前後の方向があります。無理に入れようとすると破損の恐れがあります。
- 本機がSDメモリーカードとデータをやり取りしているとき（保存、呼び出し、フォーマット中）は、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。SDメモリーカード上のデータが壊れたり、SDメモリーカードスロットが故障したりする場合があります。

■ SDメモリーカードの入れ方

1. 図のように、SDメモリーカードの表面を上にして、斜め上の角度からSDメモリーカードスロットへ挿入します。

- カチッと音がしてSDメモリーカードが止まるまで押し込みます。



■ SDメモリーカードの取り出し方

重要!

- あらかじめ、本機がSDメモリーカードにアクセス中※でないことを確認した上で、SDメモリーカードを引き抜いてください。
※ **CARD**ボタンのランプが点灯／点滅中

1. 取り出すときは、SDメモリーカードをさらに押し込みます。
 - ロックが外れてSDメモリーカードが少し押し出されます。
2. 出てきた部分をつまんで引き抜きます。

SDメモリーカードに保存されているファイルの再生

SMF形式のデータやカシオ専用のSMF変換ソフトを使って変換した曲データ（カシオ専用フォーマット：CM2）を再生できます。

重要!

- パソコン上でコピーしたデータファイルを本機で再生する場合は、以下の点にご注意ください。
SDメモリーカード上のデータファイルを再生する準備として、パソコンからSDメモリーカードにデータファイルをコピーしておきます。パソコンのSDメモリーカードスロットに本機の保存機能でフォーマットしたSDメモリーカードを挿入し、“MUSICDAT”というフォルダの中に再生させたいデータファイルをパソコンからコピーします。データ“MUSICDAT”の中にコピーしないと本機では再生できません。“MUSICDAT”の中にフォルダを作成した場合は、その作成したフォルダの中のファイルは読めません。
- 本機では、曲を変更すると数秒間、曲データの読み込みを行います。この間は曲番号の表示が点滅し、鍵盤演奏やボタン操作ができません。また、鍵盤演奏中にこの操作を行うと発音が停止します。

1. **CARD**ボタンを押します。

- ボタンのランプが点灯し、表示部にファイル番号が表示されます。



カシオ専用フォーマットの曲

2. **✓/NO**、**∧/YES**ボタンを押して、再生したい曲番号を選びます。

3. **PLAY/STOP**ボタンを押します。

4. 曲を止めるには、もう一度**PLAY/STOP**ボタンを押します。

5. SDメモリーカードの使用を終了するには、**CARD**ボタンのランプが消えるまで**CARD**ボタンを押します。

メモ

- 演奏のテンポや曲の音量、曲の頭でカウントを「鳴らす／鳴らさない」を設定できます。設定方法は、20ページの「その他の設定」を参照してください。

SDメモリーカードに保存されている曲データの呼び出し

SDメモリーカードに保存してある曲データを本機のユーザーエリア※1や録音エリア※2に呼び出しすることができます。

※1 ミュージックライブラリーの61～70番

※2 本機で録音した曲を保存する場所

● 呼び出しできるデータ

ユーザーエリア.....SMF形式のデータやカシオ専用のSMF変換ソフトを使って変換した曲データ（カシオ専用フォーマット：CM2）

録音エリア.....本機で録音した曲（カシオ専用フォーマット：CSR）

準備

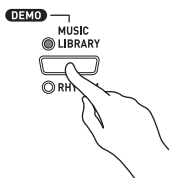
- 呼び出ししたい曲データが入っているSDメモリーカードを用意し、本機のSDメモリーカードスロットにしっかり装着します。

重要!

- SDメモリーカードによる曲データの呼出中は、電源を切るなど一切本機の操作は行わないでください。SDメモリーカードの記憶内容が消えたり、損傷を受け呼び出せなくなる恐れがあります。また、呼び出し先のユーザーエリアまたは録音エリアに保存されているデータが消去される恐れがあります。

ユーザーエリアに曲データを呼び出しする

1. MUSIC LIBRARYボタンを押して、MUSIC LIBRARYランプを点灯させます。



2. √/NOまたは∧/YESボタンを押して、曲データを呼び出しするユーザーエリア（ミュージックライブラリー：61～70番）を選びます。



選んだユーザーエリアに既にデータが保存されている場合に点灯

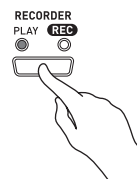
3. CARDボタンを長押しします。
 - ボタンのランプがゆっくり点滅し、表示部に“LdU”（Load User area）が表示されます。
4. √/NOまたは∧/YESボタンを使って、呼び出しする曲データ番号を選びます



5. 呼び出しを実行して良い場合は、TEMPO/SETTINGボタンを押します。
 - 操作が完了したことを示す“CPL”（ComPLete）が表示され、呼び出しが完了します。呼び出し先に選んだユーザーエリアの番号が表示されます。
 - 呼び出しを中止したい場合は、CARDボタンを押します。
 - 選んだユーザーエリアに既にデータが保存されている場合は、データを上書きして良いかを確認する“rEP”（rEPlace）が点滅表示されます。上書きして良い場合は、∧/YESボタンを押します。操作を中止したい場合は、√/NOボタンを押します。

録音エリアに曲データを呼び出しする

1. RECORDERボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



2. √/NOまたは∧/YESボタンを押して、曲データを呼び出しする録音エリア（録音機能の曲番号：1～5番）を選びます。



選んだ録音エリアに既にデータが保存されている場合に点灯

3. CARDボタンを長押しします。
 - ボタンのランプがゆっくり点滅し、表示部に“Ldr”（Load recorder area）が表示されます。
4. √/NOまたは∧/YESボタンを使って、呼び出しする曲データ番号を選びます。



5. 呼び出しを実行して良い場合は、TEMPO/SETTINGボタンを押します。
 - 操作が完了したことを示す“CPL”（ComPLete）が表示され、呼び出しが完了します。呼び出し先に選んだ録音エリアの番号が表示されます。
 - 呼び出しを中止したい場合は、CARDボタンを押します。
 - 選んだ録音エリアに既にデータが保存されている場合は、データを上書きして良いかを確認する“rEP”（rEPlace）が点滅表示されます。上書きして良い場合は、∧/YESボタンを押します。操作を中止したい場合は、√/NOボタンを押します。

本機で録音した曲データの保存

本機の録音機能で作成した録音エリアにある曲データをSDメモリーカードに保存できます。保存可能なファイル形式は、SMFフォーマット0またはカシオ専用フォーマットCSRです。

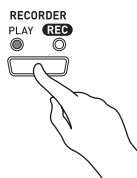
準備

- 本機でフォーマット済みのSDメモリーカードを用意し、本機のSDメモリーカードスロットにしっかり装着します。このときSDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除して、書き込み可能な状態にしておいてください。

重要!

- SDメモリーカードによる曲データの保存中は、電源を切るなど一切本機の操作は行わないでください。SDメモリーカードの記憶内容が消えたり、損傷を受け保存できなくなる恐れがあります。

- RECORDERボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



- ∨/NOまたは∧/YESボタンを押して、保存したい曲データ（曲番号：1～5番）を選びます。



- CARDボタンを長押しします。
 - ボタンのランプがゆっくり点滅し、表示部に“Ldr”（Load recorder area）が表示されます。
- もう一度、CARDボタンを押します。
 - ボタンのランプが速く点滅し、表示部に“SvC”（Save as CSR file）が表示されます。曲データをカシオ専用フォーマットCSRで保存できます。
 - ファイルをSMFフォーマット0で保存したい場合は、更にもう一度、CARDボタンを押します。表示部に“SvS”（Save as SMF0 file）が表示されます。
- ∨/NOまたは∧/YESボタンを押して、曲データを保存するファイル番号を選びます。



SDメモリーカード内のファイル番号に既にデータが保存されている場合に点灯

- 保存を実行して良い場合は、TEMPO/SETTINGボタンを押します。

- 操作が完了したことを示す“CPL”（ComPLete）が表示され、保存が完了します。その後、録音機能の再生待機に移ります。
- 保存を中止したい場合は、CARDボタンを押します。
- SDメモリーカード内の保存しようとしたファイル番号に、既にデータが保存されている場合は、そのデータを上書きして良いかを確認する“rEP”（rEPlace）が点滅表示されます。上書きして良い場合は、∧/YESボタンを押します。操作を中止したい場合は、∨/NOボタンを押します。

SDメモリーカードのフォーマット

SDメモリーカードのフォーマットを以下の手順で実行できます。

重要!

- 以下の操作を行う前に、本当にフォーマットしても良いかを必ずよくご確認ください。
- 本機のフォーマットは、クイックフォーマットです。データを完全に消去するには、パソコンなどの機器で通常のフォーマットを行ってください。

準備

- フォーマットしたいSDメモリーカードを用意し、本機のSDメモリーカードスロットにしっかり装着します。このときSDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除して、書き込み可能な状態にしておいてください。

SDメモリーカードをフォーマットするには

- TEMPO/SETTINGボタンを押します。
 - ボタンのランプが点滅します。
- CARDボタンを押します。
 - 表示部に“For”（Format）が表示されます。
- フォーマットを実行して良い場合は、∧/YESボタンを押します。
 - 実行中であることを示す“PLS”（PLeaSe wait）が表示されます。この間は、一切本機の操作は行わないでください。操作が完了したことを示す“CPL”（ComPLete）が表示されます。
 - フォーマットを中止したい場合は、∨/NOボタンを押します。

SDメモリーカード使用時のエラーについて

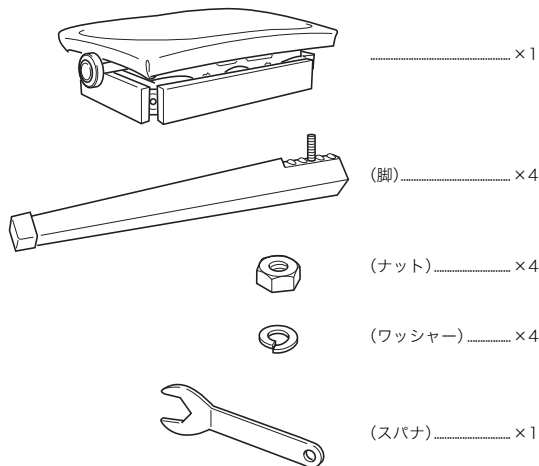
表示	原因	解決方法
[noI]	SDメモリーカードがSDメモリーカードスロットに挿入されていない。または、正しく挿入されていない。	SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに正しく挿入してください。(28ページ)
[noF]	本機で使用できるファイルが保存されていないSDメモリーカードを、読み込もうとした。	1. 本機で保存したデータか、本機用に作成されたデータの入ったSDメモリーカードをお使いください。 2. パソコンからSDメモリーカードにデータをコピーする際、“MUSICDAT”というフォルダの中にデータをコピーしてください。(28ページ)
[Er1]	SDメモリーカードが壊れている可能性がある。または、カードアクセス中に抜き差しした。	1. 本機でフォーマットしたSDメモリーカードをお使いください。(30ページ) 2. 他のSDメモリーカードをお使いください。
[Er2]	セットしたSDメモリーカードにデータを保存するための空き領域が無い。	新しいSDメモリーカードをお使いください。
[Er3]	操作途中にSDメモリーカードを抜いた。	操作途中には、SDメモリーカードを抜かないでください。
[Er4]	呼び出し専用ファイルに上書き保存しようとした。	他のSDメモリーカードに保存するか、別の番号に保存してください。
[Er5]	読み込もうとしたデータファイルの容量が大きすぎる。	SDメモリーカードに保存されているファイルの再生、またはユーザーエリアへ曲データを読み出しする場合は、容量約318KB以下のデータファイルを選び直してください。 録音エリアへ曲データを読み出しする場合は、本機で録音した曲データに限ります。
[Er6]	フォーマット0または1ではないSMF（スタンダードMIDIファイル）を読み込もうとした。	フォーマット0または1のSMFをお使いください。
[Er7]	書き込み禁止のSDメモリーカードに、保存しようとした。	1. 他のSDメモリーカードをお使いください。 2. そのSDメモリーカードに書き込んで良ければ、書き込み禁止スイッチを解除して、書き込み可能にしてください。(27ページ)
[Er8]	データ形式として正しくない。または、SDメモリーカードのデータが壊れている。	他のデータまたは他のSDメモリーカードをお使いください。

イスの組み立て方

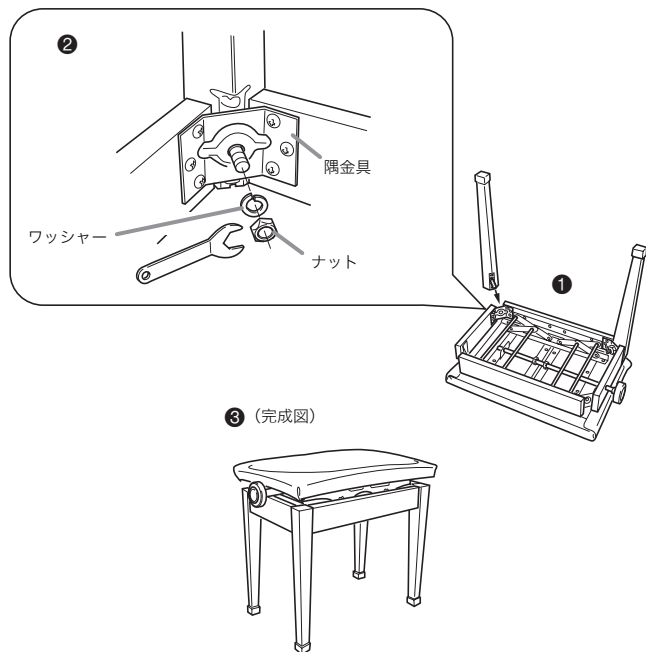
△注意

- イスで遊んだり、踏台にしたりしないでください。イスを遊び道具や踏台にすると、イスが倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- イスには二人以上で腰掛けないでください。同時に二人以上で使用すると、姿勢やイスに無理が生じ、けがの原因となることがあります。

部品をご確認ください



組み立てかた

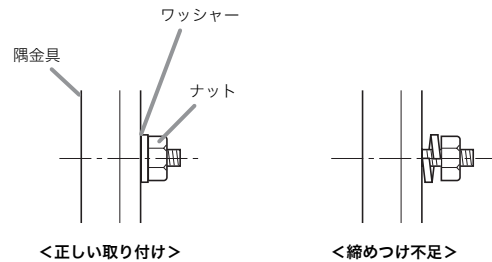


1. イスの座る面を下にして、安定した場所に置きます。(①)

2. 脚のボルト部分を隅金具の穴に通します。(②)

3. 隅金具に通したボルトにワッシャーとナットをつけ、スパナでナットを回して締め付けます。(③)

※ このとき、必ず、ワッシャーとナットのすき間がなくなるまで、締め付けてください。



△注意

- ナットがゆるんできた場合は、専用スパナでしっかりと締め直してください。ナットがゆるんだ状態で使用すると、ぐらつき、大変危険です。

4. イスを立てます。(④)

取り扱い上のご注意

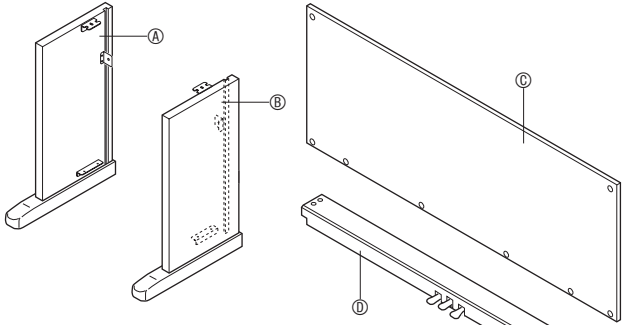
- 直射日光に当てたり、ストーブ等のそばに置くと、変色・変形する場合がありますので、ご注意ください。
- 不安定な床での使用は、故障等の原因になりますので、ご注意ください。

スタンドの組み立て方

付属品を確認しましょう

準備

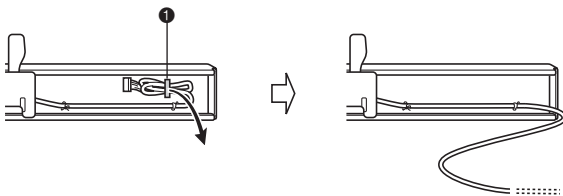
- 最初に以下の部品がそろっていることをご確認ください。(ネジ類はビニール袋にまとめて、発泡スチロール緩衝材の中にあります)。
- 組み立て用の工具は付属しておりません。あらかじめ大きめのプラス (+) ドライバーをご用意ください。



部品	サイズ (mm)	数量
E	6 × 20	4
F	3.5 × 16	6
G	—	1
H	6 × 14	2
I	4 × 16	2
J	—	1
K	6 × 20	1
L	—	4

重要!

- ネジの紛失・破損時は、カシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。
- 当社指定品と違うネジを使うと、スタンドやピアノ本体が破損する恐れがあります。
- スタンドの組み立てを始める前に、横木Dの裏側にある①の留めバンドをといて、ペダル接続用のコードを引き出します。

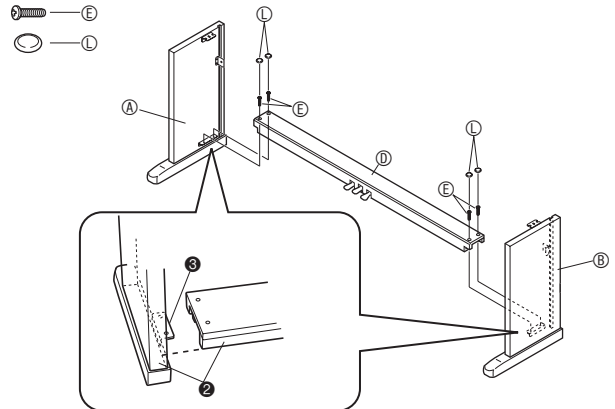


注意

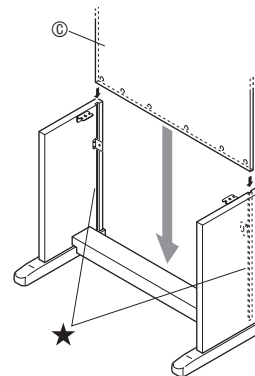
- 組み立ては、必ず二人で行ってください。
- 組み立ては、必ず平らな場所で行ってください。
- 組み立てが終わるまで、本体の鍵カバーについているテープをはがさないようにしてください。組み立ての途中でカバーが開閉すると指などはさむことがあります、危険です。
- 組み立ての際は、手などはさまないようにご注意ください。

スタンドを組み立てる

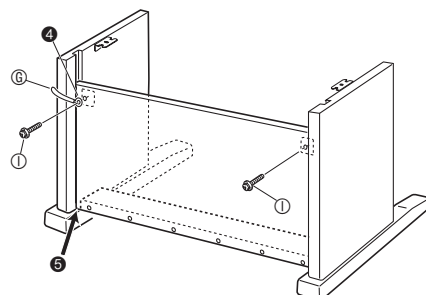
- 横木Dを側板A、Bに取り付けます。取り付けには、ネジEを4本使用します。
 - ②の部分を取り付けるときは、横木Dの溝へ側板に取り付けた金具③をはめ込みます。奥までしっかりはめ込まれていないと、金具③とネジEが正しくかみあわず、ネジ山がつぶれることがあります。
 - 取り付けしたネジ4箇所へネジキャップLを装着します。



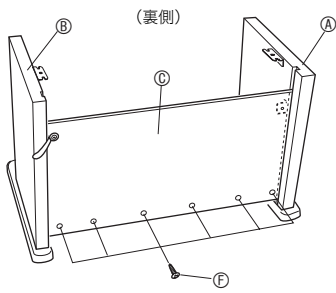
- 背板Cを側板の溝に沿って入れます (図の★)。



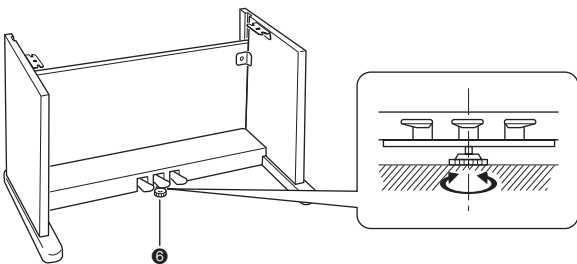
- 背板Cの左右上端をネジIを2本使って取り付けます。
 - ④の部分を取り付けるときは、ネジIをクリップGの穴に通してください。
 - 背板Cを側板A、Bの脚の部分にのせ (⑤の部分)、横木Dに押し付けた状態でネジIを取り付けてください。



4. 背板④の下部部分をネジ⑤を6本使って取り付けます。



5. 高さ調節ネジ⑥で、ペダルを踏み込んだ時にスタンドの横木⑦が沈まない所までネジ⑥の高さを調節してください。

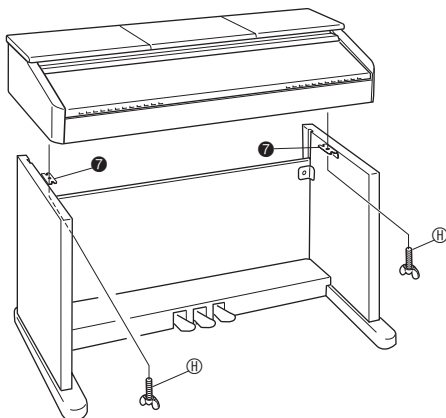


重要!

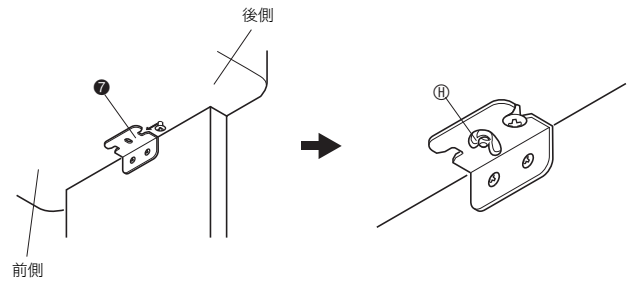
- 高さ調節ネジ⑥を調節せずにペダル操作を行なうと、横木⑦がこわれることがあります。高さ調節ネジ⑥は必ず調節してください。

6. ピアノ本体をスタンドに取り付けます。

- 蝶ネジ⑧でピアノ本体をスタンドにしっかりと固定します。



- このとき、本体底面のネジを金具⑦の切り欠きの部分に引っ掛け、蝶ネジ⑧で本体とスタンドを固定します。

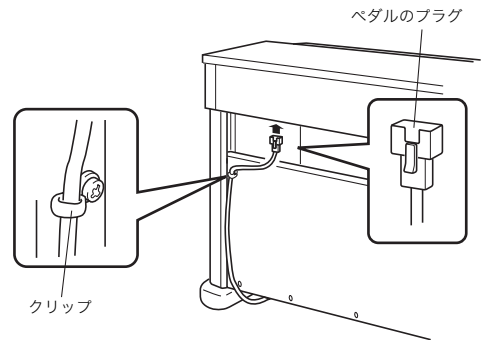


- この蝶ネジは、ピアノ本体がスタンドからずれたり落ちたりするのを避けるために、必ず取り付けてください。

コード類を接続するには

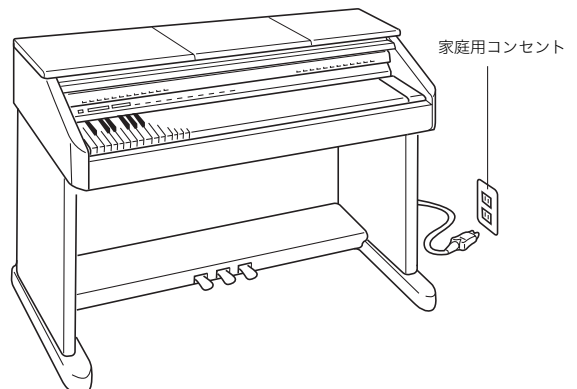
1. ペダルのプラグをイラストと同じ向きにして、ピアノ本体底面のペダルコネクターに差し込みます。

- ペダルのコードをクリップで固定します。



2. 電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。

- ピアノ本体の電源ボタンがオフの状態になっているのを確認してください。もしオンになっていたら、ボタンを押してオフの状態にしてください。



△注意

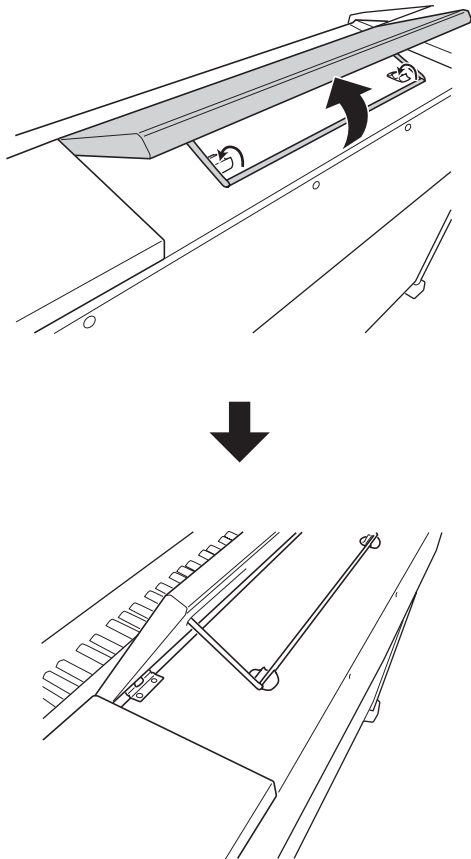
- スタンドのネジが温度、湿度の変化や振動などの影響でゆるんでいないか、時々点検してください。ゆるんでいたら、再度ネジをしっかりと締め直してください。
- いつでも電源プラグが抜けるよう、電源プラグに手が届く場所で本機をお使いください。

譜面立ての立て方

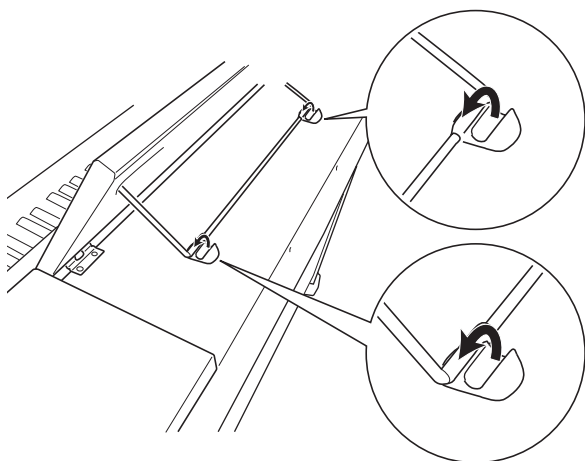
1. 譜面立てを起し、本体の上面にある2つの溝にストッパーを差し込んでお使いください。

△注意

- 譜面立ては図のようにストッパーを本体に沿わせるようにしてゆっくりと起こしてください。勢いよく起こしたり、手前に起こしすぎると、譜面立てがガタ付いてストッパーと溝の間に隙間が生じることがあります。



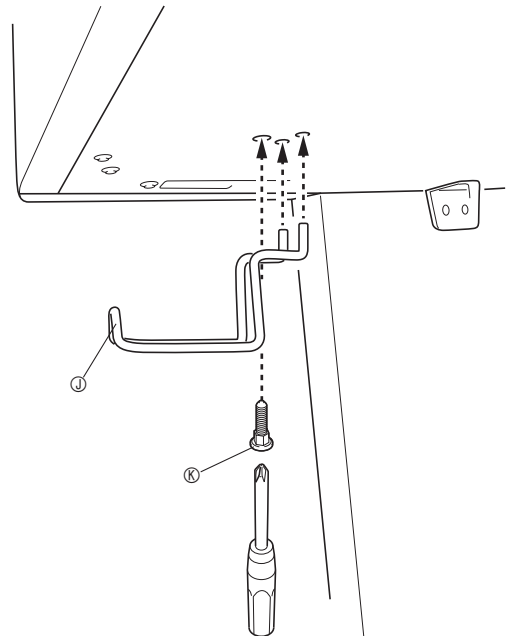
2. 譜面立てを高くして使用する場合は、図のように調節してください。



ヘッドホンフックの取り付け方

ピアノ本体の底面部にヘッドホンフックを取り付けられます。

1. 本体底面部の2つの穴に、ヘッドホンフック①を差し込みます。
2. ネジ②でヘッドホンフックをピアノ本体にしっかりと固定します。



困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。 ヘッドホンがつながっている。 ローカルコントロールの設定がオフになっている。 モードの設定が、“カシオコード”や“フィンガード”になっているときは、伴奏鍵盤で通常の鍵盤演奏ができません。 	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。 ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。 ローカルコントロールの設定をオンにする。 モードを“標準”に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 7ページ ☞ 6ページ ☞ 23ページ ☞ 13ページ
リズムが鳴らない。	伴奏の音量が“0”になっている。	曲/伴奏の音量を上げる。	☞ 23ページ
ピッチがずれて聴こえる。	<ol style="list-style-type: none"> 調の設定が“0”以外になっている。 音程が正しく設定されていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 調の設定を“0”にする。または、電源を入れ直す。 音程を正しく設定する。または、電源を入れ直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 22ページ ☞ 22ページ
デモ演奏や録音した曲の再生を始めたが、音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。 ヘッドホンがつながっている。 	<ol style="list-style-type: none"> VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。 ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 7ページ ☞ 6ページ
鍵盤を押しても、外部のMIDI音源の音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> 本機の送信チャンネルと外部のMIDI音源のチャンネルが一致していない。 外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定が“0”になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 本機と外部のMIDI音源の送信チャンネルを一致させる。 外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定を適切な値にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 23ページ ☞ 外部音源の取扱説明書
パソコンからMIDIデータを再生しても音が鳴らない。	USBケーブルが正しく接続されていない。	USBケーブルが正しく接続されていることを確認する。	☞ 24ページ
パソコンとUSB接続しているとき、鍵盤を弾くと発音が不自然になる。	パソコン側のMIDIスルー機能がオンになっている。	パソコン側のMIDIスルー機能をオフにするか、本機の設定でローカルコントロールをオフにする。	☞ 23ページ
コード伴奏の演奏情報をパソコンに録音できない。	アカンパMIDIアウトがオフになっている。	本機の設定でアカンパMIDIアウトをオンにする。	☞ 23ページ
SDメモリーカードにデータを保存できない。	<ol style="list-style-type: none"> SDメモリーカードにプロテクトがかかっている。 SDメモリーカードスロットに正しく挿入されていない。 SDメモリーカードの空き領域が足りなくなっている。 本機で使用できない記憶容量のカードを使用している。 SDメモリーカードが壊れている。 	<ol style="list-style-type: none"> 書き込み禁止スイッチを解除する。 正しく挿入しなおす。 新しいSDメモリーカードを入れる。 指定の記憶容量のSDメモリーカードを使用する。 新しいSDメモリーカードを入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 27ページ ☞ 28ページ ☞ 28ページ ☞ 27ページ
SDメモリーカードからデータを呼び出しできない。	<ol style="list-style-type: none"> SDメモリーカードスロットに正しく挿入されていない。 本機で使用できない記憶容量のカードを使用している。 SDメモリーカードが壊れている。 パソコンからSDメモリーカードにデータをコピーする際、所定のフォルダの中にコピーしていない。 	<ol style="list-style-type: none"> 正しく挿入しなおす。 指定の記憶容量のSDメモリーカードを使用する。 新しいSDメモリーカードを入れる。 “MUSICDAT”というフォルダの中にデータをコピーしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 28ページ ☞ 27ページ ☞ 28ページ
パソコンから送信中の曲データが、再生の途中で止まってしまった。	USBケーブルや電源コードからのノイズ混入により、パソコンと本機の通信が途切れた。	曲の再生を停止し、本機とUSBケーブルを一度接続し直した後、再び曲を再生させる。それでも動かない場合は、使用中のMIDIソフトウェアを一度終了させ、本機とUSBケーブルを一度接続し直した後、MIDIソフトウェアを再起動させて、曲を再生させる。	☞ 24ページ
電源を入れた直後に“E-A”という表示が出る。	内蔵フラッシュメモリーが壊れています。	カシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	☞ 43ページ
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	デジタルサンプリングという電子処理*によって発生する音域の境目で、故障ではありません。 ※ 元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。		

製品仕様

型式	AP-500
鍵盤	88鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス付き
同時発音数	最大128音
音色	164種類（レイヤー、スプリット可）
エフェクト	リバーブ（4種）、コーラス（4種）、DSP、アコースティックレゾナンス、ブリリアンス（-3~-1、1~3）
メトロノーム	<ul style="list-style-type: none"> 拍子：0, 2, 3, 4, 5, 6 テンポ範囲：20~255
自動伴奏	<ul style="list-style-type: none"> リズム数：20 テンポ範囲：20~255 コントローラー：スタート/ストップ、イントロ/エンディング、シンクロ/フィルイン モード：標準、カシオコード、フィンガード、フルレンジコード 伴奏の音量：調節可
デモ	74曲（全曲リピート再生）
ミュージックライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵曲：60曲、ダウンロード曲：最大10曲（合計約3.1MB：1曲あたり最大約318KB）※ ※表記容量は、1KB=1024バイト、1MB=1024²バイト換算です。 曲の音量：調節可 デモ：全曲リピート再生 パートのオン/オフ：L、R
録音機能	<ul style="list-style-type: none"> 方式：リアルタイム録音、再生 曲数：5曲 録音トラック数：2トラック 容量：合計約50,000音符（1曲あたり最大約10,000音符） 録音内容の保持：内蔵フラッシュメモリー
ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> タッチセレクト：3種類、オフ トランスポーズ：1オクターブ（-6~0~5） チューニング：A4=440.0Hz±50セント（可変）
MIDI	16chマルチティンバー受信
SDメモリーカード	<ul style="list-style-type: none"> SDメモリーカードスロット 対応可能なSDメモリーカード：1GBまで（これより大きい容量のカードは使用不可） 機能：SMF再生、ファイルの保存、呼び出し、カードフォーマット
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドホン端子：ステレオ標準ジャック×2 MIDI [THRU] [OUT] [IN] 端子 LINE IN [R] [L/MONO] 端子：標準ジャック×2 入力インピーダンス7.0KΩ 入力感度290mV（RMS） LINE OUT [R] [L/MONO] 端子：標準ジャック×2 出力インピーダンス1.1KΩ 出力電圧2.3V（RMS）MAX USB端子：タイプB ペダルコネクター
スピーカー	φ16cm×2+φ5cm×2（出力30W+30W）
電源	AC100V（50、60Hz）
消費電力	50W
サイズ	本体+スタンド：幅138.1×奥行47.3×高さ87.4cm
重量	本体+スタンド：約52.0kg
付属品	ペダル（3本）付きスタンド、イス、ヘッドホン、取扱説明書（本書）、保証書、楽譜集、安全上のご注意、CD-ROM

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
イス	CB-5 CB-7 CB-9BN CB-20
MIDIケーブル	MK-5

- 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパートなど）で、お求めになれます

トーンリスト

No.	音色名	プログラム チェンジ	バンクセレクト MSB	最大同時 発音数	DSP
-	GRAND PIANO 1	0	48	64	-
-	GRAND PIANO 2	0	49	128	-
-	GRAND PIANO 3	1	48	64	-
-	ELEC PIANO 1	4	48	128	Enhancer
-	ELEC PIANO 2	5	49	64	3Band EQ
-	ELEC PIANO 3	5	48	128	Enhancer
-	60'S E.PIANO	4	51	128	Tremolo
-	HARPSICHORD	6	48	128	3Band EQ
-	VIBRAPHONE	11	48	128	Tremolo
-	PIPE ORGAN	19	49	128	-
-	PERC ORGAN	17	48	64	Rotary
-	STRINGS	49	48	128	3Band EQ
-	ACOUSTIC BASS	32	48	128	3Band EQ
-	RIDE ACO BASS	32	49	64	3Band EQ
VARIOUS音色					
001	MELLOW PIANO	0	50	64	-
002	ROCK PIANO	1	49	128	-
003	DANCE PIANO	1	50	128	-
004	MODERN PIANO	1	51	64	-
005	PIANO PAD	0	51	64	-
006	HONKY-TONK	3	48	64	-
007	OCTAVE PIANO	3	49	64	-
008	DYNO ELEC.PIANO	4	49	128	Auto Pan
009	POP ELEC.PIANO	4	50	64	Tremolo
010	EGRAND 80	2	48	128	-
011	CLAVI	7	48	128	Enhancer
012	CHURCH ORGAN	19	48	64	-
013	DRAWBAR ORGAN	16	48	128	Rotary
014	ROCK ORGAN	16	49	128	Drive Rotary
015	STEEL STR.GUITAR	25	48	128	-
016	SYNTH-STRINGS	50	48	128	3Band EQ
017	CHOIR	52	48	64	-
018	SYNTH-PAD	90	48	64	-
019	FANTASY	88	48	64	-
020	NEW AGE	88	49	64	3Band EQ
GM音色					
021	GM PIANO 1	0	0	128	-
022	GM PIANO 2	1	0	128	-
023	GM PIANO 3	2	0	128	-
024	GM HONKY-TONK	3	0	64	-
025	GM E.PIANO 1	4	0	128	-
026	GM E.PIANO 2	5	0	128	-
027	GM HARPSICHORD	6	0	128	-
028	GM CLAVI	7	0	128	-
029	GM CELESTA	8	0	128	-
030	GM GLOCKENSPIEL	9	0	128	-
031	GM MUSIC BOX	10	0	64	-
032	GM VIBRAPHONE	11	0	128	-
033	GM MARIMBA	12	0	128	-
034	GM XYLOPHONE	13	0	128	-
035	GM TUBULAR BELL	14	0	128	-
036	GM DULCIMER	15	0	64	-
037	GM ORGAN 1	16	0	128	-
038	GM ORGAN 2	17	0	64	-
039	GM ORGAN 3	18	0	64	-
040	GM PIPE ORGAN	19	0	64	-
041	GM REED ORGAN	20	0	128	-
042	GM ACCORDION	21	0	64	-
043	GM HARMONICA	22	0	128	-
044	GM BANDONEON	23	0	64	-
045	GM NYLON STR.GUITAR	24	0	128	-

No.	音色名	プログラム チェンジ	バンクセレクト MSB	最大同時 発音数	DSP
046	GM STEEL STR.GUITAR	25	0	128	-
047	GM JAZZ GUITAR	26	0	128	-
048	GM CLEAN GUITAR	27	0	128	-
049	GM MUTE GUITAR	28	0	128	-
050	GM OVERDRIVE GT	29	0	64	-
051	GM DISTORTION GT	30	0	64	-
052	GM GT HARMONICS	31	0	128	-
053	GM ACOUSTIC BASS	32	0	128	-
054	GM FINGERED BASS	33	0	128	-
055	GM PICKED BASS	34	0	128	-
056	GM FRETLESS BASS	35	0	128	-
057	GM SLAP BASS 1	36	0	128	-
058	GM SLAP BASS 2	37	0	128	-
059	GM SYNTH-BASS 1	38	0	64	-
060	GM SYNTH-BASS 2	39	0	128	-
061	GM VIOLIN	40	0	128	-
062	GM VIOLA	41	0	128	-
063	GM CELLO	42	0	128	-
064	GM CONTRABASS	43	0	128	-
065	GM TREMOLO STRINGS	44	0	128	-
066	GM PIZZICATO	45	0	128	-
067	GM HARP	46	0	128	-
068	GM TIMPANI	47	0	128	-
069	GM STRINGS 1	48	0	128	-
070	GM STRINGS 2	49	0	128	-
071	GM SYNTH-STRINGS 1	50	0	128	-
072	GM SYNTH-STRINGS 2	51	0	128	-
073	GM CHOIR AAHS	52	0	128	-
074	GM VOICE DOO	53	0	128	-
075	GM SYNTH-VOICE	54	0	128	-
076	GM ORCHESTRA HIT	55	0	64	-
077	GM TRUMPET	56	0	128	-
078	GM TROMBONE	57	0	128	-
079	GM TUBA	58	0	128	-
080	GM MUTE TRUMPET	59	0	128	-
081	GM FRENCH HORN	60	0	64	-
082	GM BRASS	61	0	128	-
083	GM SYNTH-BRASS 1	62	0	64	-
084	GM SYNTH-BRASS 2	63	0	64	-
085	GM SOPRANO SAX	64	0	128	-
086	GM ALTO SAX	65	0	128	-
087	GM TENOR SAX	66	0	128	-
088	GM BARITONE SAX	67	0	128	-
089	GM OBOE	68	0	128	-
090	GM ENGLISH HORN	69	0	128	-
091	GM BASSOON	70	0	128	-
092	GM CLARINET	71	0	128	-
093	GM PICCOLO	72	0	128	-
094	GM FLUTE	73	0	128	-
095	GM RECORDER	74	0	128	-
096	GM PAN FLUTE	75	0	128	-
097	GM BOTTLE BLOW	76	0	128	-
098	GM SHAKUHACHI	77	0	64	-
099	GM WHISTLE	78	0	128	-
100	GM OCARINA	79	0	128	-
101	GM SQUARE LEAD	80	0	64	-
102	GM SAWTOOTH LEAD	81	0	64	-
103	GM CALLIOPE	82	0	64	-
104	GM CHIFF LEAD	83	0	64	-
105	GM CHARANG	84	0	64	-
106	GM VOICE LEAD	85	0	64	-

No.	音色名	プログラム チェンジ	バンクセレクト MSB	最大同時 発音数	DSP
107	GM FIFTH LEAD	86	0	64	—
108	GM BASS+LEAD	87	0	64	—
109	GM FANTASY	88	0	64	—
110	GM WARM PAD	89	0	128	—
111	GM POLYSYNTH	90	0	64	—
112	GM SPACE CHOIR	91	0	64	—
113	GM BOWED GLASS	92	0	64	—
114	GM METAL PAD	93	0	64	—
115	GM HALO PAD	94	0	64	—
116	GM SWEEP PAD	95	0	128	—
117	GM RAIN DROP	96	0	64	—
118	GM SOUND TRACK	97	0	64	—
119	GM CRYSTAL	98	0	64	—
120	GM ATMOSPHERE	99	0	64	—
121	GM BRIGHTNESS	100	0	64	—
122	GM GOBLINS	101	0	64	—
123	GM ECHOES	102	0	128	—
124	GM SF	103	0	64	—
125	GM SITAR	104	0	128	—
126	GM BANJO	105	0	128	—
127	GM SHAMISEN	106	0	128	—
128	GM KOTO	107	0	128	—
129	GM THUMB PIANO	108	0	128	—
130	GM BAGPIPE	109	0	64	—
131	GM FIDDLE	110	0	128	—
132	GM SHANAI	111	0	128	—
133	GM TINKLE BELL	112	0	128	—
134	GM AGOGO	113	0	128	—
135	GM STEEL DRUMS	114	0	64	—
136	GM WOOD BLOCK	115	0	128	—
137	GM TAIKO	116	0	128	—
138	GM MELODIC TOM	117	0	128	—
139	GM SYNTH-DRUM	118	0	128	—
140	GM REVERSE CYMBAL	119	0	128	—
141	GM GT FRET NOISE	120	0	128	—
142	GM BREATH NOISE	121	0	128	—
143	GM SEASHORE	122	0	64	—
144	GM BIRD	123	0	64	—
145	GM TELEPHONE	124	0	128	—
146	GM HELICOPTER	125	0	128	—
147	GM APPLAUSE	126	0	64	—
148	GM GUNSHOT	127	0	128	—
ドラムセット					
149	STANDARD SET	0	120	128	—
150	BRUSH SET	40	120	128	—

ドラム音色リスト

音名/ ノートナンバー	STANDARD SET	BRUSH SET
E1 28	HIGH Q	←
F1 29	SLAP	←
G1 31	SCRATCH PUSH	←
A1 33	SCRATCH PULL	←
B1 35	STICKS	←
C2 36	SQUARE CLICK	←
D2 38	METRONOME BELL	←
E2 40	METRONOME BELL	←
F2 41	STANDARD 1 KICK 2	BRUSH KICK 2
G2 43	STANDARD 1 KICK 1	BRUSH KICK 1
A2 45	SIDE STICK	BRUSH SIDE STICK
B2 47	STANDARD 1 SNARE 1	BRUSH TAP
C3 48	HAND CLAP 1	BRUSH SLAP
D3 50	STANDARD 1 SNARE 2	BRUSH SWIRL
E3 52	LOW TOM 2	←
F3 53	CLOSED HI-HAT	←
G3 55	LOW TOM 1	←
A3 57	PEDAL HI-HAT	←
B3 59	MID TOM 2	←
C4 60	OPEN HI-HAT	←
D4 62	MID TOM 1	←
E4 64	HIGH TOM 2	←
F4 65	CRASH CYMBAL 1	BRUSH CRASH CYMBAL 1
G4 67	HIGH TOM 1	←
A4 69	RIDE CYMBAL 1	BRUSH RIDE CYMBAL 1
B4 71	CHINESE CYMBAL	←
C5 72	RIDE BELL	BRUSH RIDE BELL
D5 74	TAMBOURINE 1	TAMBOURINE 2
E5 76	SPLASH CYMBAL	BRUSH SPLASH CYMBAL
F5 77	COWBELL	←
G5 79	CRASH CYMBAL 2	BRUSH CRASH CYMBAL 2
A5 81	VIBRA-SLAP	←
B5 83	RIDE CYMBAL 2	BRUSH RIDE CYMBAL 2
C6 84	HIGH BONGO	←
D6 86	LOW BONGO	←
E6 88	MUTE HIGH CONGA	←
F6 89	OPEN HIGH CONGA	←
	LOW CONGA	←
	HIGH TIMBALE	←
	LOW TIMBALE	←
	HIGH AGOGO	←
	LOW AGOGO	←
	CABASA	←
	MARACAS	←
	SHORT HI WHISTLE	←
	LONG LOW WHISTLE	←
	SHORT GUIRO	←
	LONG GUIRO	←
	CLAVES	←
	HIGH WOOD BLOCK	←
	LOW WOOD BLOCK	←
	MUTE CUICA	←
	OPEN CUICA	←
	MUTE TRIANGLE	←
	OPEN TRIANGLE	←
	SHAKER	←
	JINGLE BELL	←
	BELL TREE	←
	CASTANETS	←
	MUTE SURDO	←
	OPEN SURDO	←
	APPLAUSE	←
	APPLAUSE 2	←

メモ

- “←” : STANDARD SETと同じ

リズムリスト

NO.	リズム名
01	8 BEAT
02	PIANO BALLAD 1
03	PIANO BALLAD 2
04	EP BALLAD 1
05	EP BALLAD 2
06	BLUES BALLAD
07	JAZZ COMBO 1
08	JAZZ COMBO 2
09	RAGTIME
10	ROCK' N' ROLL
11	BOOGIE WOOGIE
12	BOSSA NOVA
13	GOSPEL
14	ARPEGGIO 1
15	ARPEGGIO 2
16	MARCH 1
17	MARCH 2
18	STRIDE PIANO
19	WALTZ 1
20	WALTZ 2

ソングリスト

NO.	曲名
01	ノクターン 作品9の2
02	幻想即興曲 作品66
03	エチュード 作品10の3 <別れの曲>
04	エチュード 作品10の5 <黒鍵>
05	エチュード 作品10の12 <革命>
06	エチュード 作品25の9 <蝶々>
07	プレリュード 作品28の7
08	ワルツ 作品64の1 <小犬のワルツ>
09	ワルツ 作品64の2
10	楽興の時 第3番
11	即興曲 作品90の2
12	軍隊行進曲 第1番 (連弾)
13	春の歌「無言歌 第5集」より
14	楽しき農夫「ユーゲント・アルバム」より
15	見知らぬ国と人々について「子供の情景」より
16	トロイメライ「子供の情景」より
17	タンブラン
18	メヌエット BWV Anh.1 14 「アンナ・マグダレーナ・バッハのクラヴィーア小曲集」より
19	インヴェンション 第1番 BWV 772
20	インヴェンション 第8番 BWV 779
21	インヴェンション 第13番 BWV 784
22	プレリュード 第1番 BWV 846 「平均律クラヴィーア曲集 第1巻」より
23	かっこう
24	ガボット
25	ソナチネ 作品36の1 第1楽章
26	ソナチネ 作品20の1 第1楽章
27	ソナタ K.545 第1楽章
28	ソナタ K.331 第3楽章 <トルコ行進曲>
29	ロンド K.485
30	エリーゼのために
31	トルコ行進曲
32	ソナタ 作品13 <悲愴> 第1楽章
33	ソナタ 作品13 <悲愴> 第2楽章
34	ソナタ 作品13 <悲愴> 第3楽章
35	ソナタ 作品27の2 <月光> 第1楽章
36	ラブソディ 第2番
37	ワルツ 作品39の15 (連弾)
38	愛の夢 第3番
39	花の歌
40	乙女の祈り
41	クシコス・ポスト
42	ユーモレスク 作品101の7
43	メロディー「叙情小曲集 第2集」より
44	シリエンヌ 作品78
45	子守唄「ドリー組曲」より (連弾)
46	アラベスク 第1番
47	亜麻色の髪の乙女「前奏曲集」より
48	パスピエ「ベルガマスク組曲」より
49	ジムノペディ 第1番
50	ジュ・トゥ・ヴ
51	愛の挨拶
52	エンターテイナー
53	メープル・リーフ・ラグ
54	アラベスク「25の練習曲 作品100」より
55	スティリアンヌ「25の練習曲 作品100」より
56	アヴェ・マリア「25の練習曲 作品100」より
57	帰途「25の練習曲 作品100」より
58	貴婦人の乗馬「25の練習曲 作品100」より
59	第13番「30番練習曲 作品849」より
60	第26番「30番練習曲 作品849」より
61~70	ユージーエリア

フィンガードコード一覧表

コードの 種類 (ルート)	メジャー	m (マイナー)	7 (セブンス)	m7 (マイナーセブンス)	dim7 (ドミナントセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	dim (ドミニク)	m7 ^{♭5} (ドミナントセブンス)
C								
C [♯] (D [♭])								
D								
(D [♯])/E [♭]								
E								
F								
F [♯] (G [♭])								
G								
(G [♯])/A [♭]								
A								
(A [♯])/B [♭]								
B								

コードの 種類 (ルート)	aug (オーギュメント)	sus4 (サスフォー)	7sus4 (セブンスサスフォー)	m add9 (マイナーアドナインズ)	mM7 (マイナーセブンス)	7 ^{♭5} (セブンスフラットファイブ)	add9 (アドナインズ)
C							
C [♯] (D [♭])							
D							
(D [♯])/E [♭]							
E							
F							
F [♯] (G [♭])							
G							
(G [♯])/A [♭]							
A							
(A [♯])/B [♭]							
B							

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください

■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）。

■ 本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ ウェルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください。

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています。

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承くださいたいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただきますこと」があります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただきますことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この商品は修理の際、交換した部品を再生し再利用する場合があります。
- 修理の際交換した部品は、受付時に特段のお申し出がない場合、弊社にて引き取らせていただきます。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

© MA0706-B Printed in China
AP500JA1B